

シテ出テ居リマスガ、現實ノ問題トシテ
破産ノ状態ニ陥ルモノガ非常ニ多イデ
アラウト云フヤウニ考ヘルノデアリマス
ス、サウ云ツタ場合、人トシテノ感ジカド
ラ言ツテ、此ノ法案ノ遂行ニ對シテ果
シテ衷心カラ協力スルモノデアルカド
ウカ、此ノ點方縣念ノ第二デアリマス
次ハ前申シタ既ニ支拂済ノ分ノ徵收、
徵税ニ對スル懸念デアリマス、是ハド
ウ云フ觀點カラ之ヲ調査シ捕捉スルカラ
知リマセヌガ、先づ一度支拂ツタモノデアル、此ノ
ハ相當徵收が困難ナモノデアル、此ノ
困難サヲ考ヘタ結果、非常ナ不公平ヲ承
知ノ上デ私ハ所謂補償打切りト云フ手
ヲ政府ハ考ヘタ、一應補償ヲ拂ソテ財
產稅ヲ賦課スルト云フ考ヘ方ヲ一擲シ
タノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居
リマス、ソレ等ノ三ツノ點カラ行キマ
シテ、此ノ法案ニ考ヘテ居リマスル今
日ノ深刻性ト共ニ、非常ニ何ト申シマ
スカ適當デナイ處置デアルト云フヤウ
ニ思フノデアリマス、既ニ支拂ハレタ
モノニ對シマシテハ、善意デアルト懇
意デアルトヨ間ハズ、何レモ一應ハ自
分ノ金トシテ投資ニ向ケマスルトカ或
ハ企業體ノ解散ニ際シテ、ソレハ從
業員等ニモ論功行賞的ノ方途ニ依ツテ
之ヲ消費シテ居ル、殊ニ此ノ點ニ付テ
ハ當局ニ於テモ退職手當等モ基本的ノ
條件ヲ示シテ居ル、サウ云ツタコトニ
従ツテソレハ、處置ヲシ、處分ガ済ン
デ居ル、サウ云ツタ金额ヲ此ノ際百「バ
セント」回収スルト云フコトハ、根本
的ニ私ハ無理ガアルノデハナイカト
稅者自體ノ協力ヲ得ラレル方途ヲ考ヘ
シテナケレバ、如何ニ斯ウ云ツタ苛烈

ナ、又深刻ノ課税方法ヲ考へマシテモ、目的ハ必ズ達セラレヌト云フコトヲ考ヘルノデアリマス。次ニ同様ナ意味ニ於テ企業整備ノ特殊預金ノ問題アリマス、是ハ度々來私モ御尋ネラ致シテ居ツタノデアリマスガ、如何ニモ心理的ニ、此ノ際打切りヲサレルト云フコトハ、アノ企業ヲ整備セラレタ當時ノ在リ方ヲ考ヘタ場合、我々トシテ忍ビナイノデアリマス、殊ニ最モ私共ノ肯キ得ナイ點ハ、アノ企業整備ニ當ツテ、工場或ハ機械ヲ、或ハ工場敷地ヲ民間人同士デ賣買ヲシタノデアリマス、一方ハ平和産業家ト云フヤウナ場合ニ、民間人同士デ賣買ヲシマシテ、其ノ代金ノ授受モ民間人同士デヤツチ居ツタ、ソレヲ其ノ措置令ニ依ツテ特殊預金トシテ預入ヲセシメラレテ居ツタ、謂ハバ政府ハ此ノ場合完全ニ表面上カラハ第三者デアル、其ノ第三者ガ憑通シテ當事者同士ノ賣買ノ金ヲ巻上げテ預カツテ、ソレヲ此ノ際税金トシテ支拂ツテ行ク、斯ウ云フコトハ日本ノ道義ノ上カラ私絶対ニ許サレナイ問題アリウト思フ、恰モ賣買ノ仲介ニ立ツタ人ガ横カラ其ノ賣買代金ヲ横領シタト同様ノ結果ニナツチ居ルト想フノデアリマス、是等ニ付テ政府ハドウ云ツタ考ヘ持ツテ居ラレルカ、私ノ以上述べマシタコトハ、色々我々ノ考へヲ率直ニ申シタノミデアリマスルガ、要ハ敗戦國民トシテ、ドウシテモ斯ウシタ不合理的デアリ、不公平ナモノヲ甘受シナケレバナラヌト云フコトデアレバ、之ヲ徹底ニ國民ニ知悉サセマシテ、サウシテ其ノ已ムヲ得サル所以ヲ諒承サセルト云フ點ニ、更ニ一段ノ努力ヲシナ

ケレバナラヌト思フ、併シナガラ以上申シタヤウナ此ノ百「バーセント」ノ課税、或ハ支拂済ノ徵稅、或ハ企業整備ノ民間人間ノ賣買金ノ巻上ゲト云フヤシナ問題ハ、何トカ之ヲ改善致シマシテ、此ノ對象トナル人達ノ或ハ法人達ノ協力ヲ得ラレルヤウナ方向ニシテ參ス、一應控除額ハ決定シテ居リマスガ、個人五萬圓、法人一萬圓ト云フヤウナ控除ハ、是レ亦非常ニ不公平ナコトデアルト思フ、例ヘバ五萬圓ヲ特殊預金ヲ持ツ人ハ一錢を負擔セズ、十萬圓ノ預金ヲ持ツ人ハ五萬圓ノ負擔ヲスル、是ハ徇ニ從來ノ納稅ノ觀念カラ行キマシテ、亂暴ナ無計畫ナ行キ方デアルト云フヤウニ考へテ居ルノアリマスガ、大藏大臣ハ御見エヌラヌヤウデアリマスカラ、隣國務大臣カラ御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス

段階ヲ經ナケレバナラナイコトナノデ
アリマシテ、此ノ點ハ政府モ洵ニ忍ビ
ザル點デアリマスケレドモ、一方昨日
モ申上ゲマシタ通り、國家財政ノ再建
企業ノ再建ノ上ニ洵ニ已ムヨ得ザル處
置デアリマス、尙ホ此ノ打撃ヲ蒙リマ
シタ者ノ再起ニ付キマシテハ、殊ニ中
小企業ト云フヤウナ方面ニ付マシテ
ハ、出來ル限り政府ハ其ノ再起ニ必要
ナ助力ヲ致シタイト思フ次第デアリマ
ス、其ノ邊ハドウダーツ御願承ヲ願ヒ
タイト存ジマス、尙ホ税金ノ關係ニ付
キマシテハ大藏省ノ政府委員カラ説明
ヲシテ戴キマス

アリマスカラ、例へバ産業設備整備團ニシテモ損害保険中央會ト云ツタヤワナ機關ニシテモ、仕事ノ中ノドウ云フ部分ダケヲ政府ガ尻ヲ見ルカト云フコトノ範圍ガ決マツテ居ル譯デアリマス、例へバ一般的ナ通常ノ業務ヲヤリマスノニ非常ニ人ヲ澤山抱ヘテ人件費ノ赤ガ出タトカ、或ハ非常ニ賛澤用度ヲ整ヘタトカ云フモノハ、損ガ出テモ政府ハ財政的ニ面倒ヲ見マセヌ、産業設備ヲ作ルコトニ付テ損ガ出タトカ、或ハ損害保険中央會デ申シマスレバ、戦爭保険ノ收入保険料ニ比シテ支拂保険金ガ超過シタ場合ニ其ノ差額ト云フノ限定期間ナレ居ル譯デ、其ノ範圍ノモノダケニ付テ此ノ補償打切りノ問題ヲ生ズル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレカラモウ一つ通常業務ト云フ問題ハ斯ウ云フ譯デアリマス、是ハ昨日モ御説明ガアツカト思ヒマスガ、要スルニ回ノ補償打切りノ問題ハ、凡ソ一切ノ戦争ニ關係シタ請求權ハ皆打切ル云フ建前デ出來テ居リマス爲ニ、定義ノ仕方トシマシテ第一條ニアリマスヤウニ、戦争ニ關係シタ請求權ト云フ言葉ヲ使ヒマセヌデ、凡ソ一切ノ政府等ニ對スル請求權ト云フノ冒頭ニ掲ゲマシテ、ソレカラ順次戦争ニ關係ノナイシタ爲ニ、政府等ニ對スル請求權ノ中カラ通常業務關係ノモノヲ除外、斯ウ云フ風ニナツチ居ル譯デアリマス、其ノ通常業務ト申シマスノハ大體斯シタ爲ニ、政府等ニ對スル請求權ノ中カラ通常業務關係ノモノヲ除外、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、陸軍、海軍、航空兵器總局關係ニ付キマシテハ、人件費ダケガ通常業務ノ範圍ニ入リマス、ソレカラ其ノ以外ノ官廳ノ關

關係ノ支出ニ付キマシテハ、國家總動員法ニ基ク補償デアルトカ云フヤウナ別表ニ上ツテ居リマスヤウナ關係ノ支出ヲ除キマシテハ、アトハ全部通常業務アル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○平岡委員 ソコデ前ノ問題ヲ蒸シ返スヤウデアリマスガ、先日中上ダ企業整備ニ依ル民間人個々間ニ於ケル賣買、即チ軍需會社ガ乙平和會社ハ其ノ百萬圓ノ資金ノ調達ニ付テ、政府カラ保障ヲ受ケテ居ル金融機關等カラ借入ヲシマシテ、之ヲ乙平和會社ニ支拂ツタト云フコトニ相成ルト思ヒマス、サウス、サウシマスルト甲軍需會社ハ其ノウスルト政府ハ其ノ甲軍需會社ニ對ス預金セシメテ、更ニ之ヲ沒收スルト云ニ達成セラレテ居ルノデアリマス、其ノ受取ツタ乙平和會社ノ百萬圓ヲ特殊ノアリマス、之ヲハツキリ法律的ニ御説明ヲ願ヒタイ

○橋本政府委員 御答へ致シマス、企業整備ノ關係打切りノ對象ニナリマスノハ、ヤハリ國ノ財政負擔ニ問題ヲ生ジテ來ルト云フ意味ニ於キマシテ、國民更生金庫ト産業設備營團、帝國鐵道株式會社、日本石炭株式會社ガソレゾノ業務範圍ニ於テ政府ノ意圖ヲ受ケテヤツタ企業整備ノ關係ダケデアリマス、ソレデヤハリ企業整備ノ關係デノ方ハ打切ノ對象ニハ入りマセヌ

○平岡委員 個人カラ個人へ賣却シタウナ場合ニ、其ノ代金ヲ企業整備資金處置法デ封鎖ヲ命ジタモノハゴザイマスガ、此ノ方ハ打切ノ對象ニハ入りマセヌ

○平岡委員 ソコデ前ノ問題ヲ蒸シ返スヤウデアリマスガ、先日中上ダ企業整備ニ依ル民間人個々間ニ於ケル賣買、即チ軍需會社ガ乙平和會社ハ其ノ百萬圓ノ資金ノ調達ニ付テ、政府カラ保障ヲ受ケテ居ル金融機關等カラ借入ヲシマシテ、之ヲ乙平和會社ニ支拂ツタト云フコトニ相成ルト思ヒマス、サウス、サウシマスルト甲軍需會社ハ其ノウスルト政府ハ其ノ甲軍需會社ニ對ス預金セシメテ、更ニ之ヲ沒收スルト云ニ達成セラレテ居ルノデアリマス、其ノ受取ツタ乙平和會社ノ百萬圓ヲ特殊ノアリマス、之ヲハツキリ法律的ニ御説明ヲ願ヒタイ

○橋本政府委員 左様デアリマス

○平岡委員 次ハ第六十條デアリマス、第六十條ニ「國、地方公共團體若しくは特定機關に對して土地若しくは建物」云々ト云フ點ガアリマスガ、是等ノモノヲ國其ノ他ノ團體ニ賣ツテ、ソレガ現存シテ居ル場合ハ買戻シタシ得ルト云フ指置ノヤウニ思フノデスガ、假令多少ノ形ノ變化ハアリマシテモ、ソレ等自體ヲ現在所有ヲシテ居ト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノト承知シテ居ル

○橋本政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答へテ致シマス、此處ニ規定シテト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノハ土地ト建物ト是等ノ定著物、ソレカラ鑑業權、砂礫權ニ限ツテ居リマスノデ、御質問ハ多分其ノ範圍ノモノデアラウト思ヒマス、要スルニ建物ヤ土地等ガ變形ヲシテ居ル場合ハ色々ガザヤウスガ、ソレヲ特ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマス、現在ノ状態ノ儘デ其ノ所有權ヲ返還致ス譯デアリマス、勿論其ノ場合ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマセヌ、現在ノ状態ニ依テ過去ニ存在セル重要子基礎物資ヲ、現在奪ヒ合ヒノ状態デ、之ヲ消

○橋本政府委員 左様デアリマス

○平岡委員 大藏大臣ガオイデニナラスノデ此ノ質問ニ適當デナイカモ知レマセガ、現下ノ日本ノ經濟狀態ヲ仔細ニ眺メテ居リマスルト、何時モ大藏大臣ノ述ベラマシタ通りデゴザイシト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノト承知シテ居ル

○平岡委員 大藏大臣ガオイデニナラスノデ此ノ質問ニ適當デナイカモ知レマセガ、現下ノ日本ノ經濟狀態ヲ仔細ニ眺メテ居リマスルト、何時モ大藏大臣ノ述ベラマシタ通りデゴザイシト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノト承知シテ居ル

○橋本政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答へテ致シマス、此處ニ規定シテト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノハ土地ト建物ト是等ノ定著物、ソレカラ鑑業權、砂礫權ニ限ツテ居リマスノデ、御質問ハ多分其ノ範圍ノモノデアラウト思ヒマス、要スルニ建物ヤ土地等ガ變形ヲシテ居ル場合ハ色々ガザヤウスガ、ソレヲ特ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマス、現在ノ状態ノ儘デ其ノ所有權ヲ返還致ス譯デアリマス、勿論其ノ場合ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマセヌ、現在ノ状態ニ依テ過去ニ存在セル重要子基礎物資ヲ、現在奪ヒ合ヒノ状態デ、之ヲ消

○平岡委員 諒承致シマシタ、次ニ私費財ニ生産シテ、アルヤウナ實情ガ多

○橋本政府委員 左様デアリマス

○平岡委員 大藏大臣ガオイデニナラスノデ此ノ質問ニ適當デナイカモ知レマセガ、現下ノ日本ノ經濟狀態ヲ仔細ニ眺メテ居リマスルト、何時モ大藏大臣ノ述ベラマシタ通りデゴザイシト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノト承知シテ居ル

○橋本政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答へテ致シマス、此處ニ規定シテト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノハ土地ト建物ト是等ノ定著物、ソレカラ鑑業權、砂礫權ニ限ツテ居リマスノデ、御質問ハ多分其ノ範圍ノモノデアラウト思ヒマス、要スルニ建物ヤ土地等ガ變形ヲシテ居ル場合ハ色々ガザヤウスガ、ソレヲ特ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマス、現在ノ状態ノ儘デ其ノ所有權ヲ返還致ス譯デアリマス、勿論其ノ場合ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマセヌ、現在ノ状態ニ依テ過去ニ存在セル重要子基礎物資ヲ、現在奪ヒ合ヒノ状態デ、之ヲ消

○平岡委員 諒承致シマシタ、次ニ私費財ニ生産シテ、アルヤウナ實情ガ多

○橋本政府委員 左様デアリマス

○平岡委員 大藏大臣ガオイデニナラスノデ此ノ質問ニ適當デナイカモ知レマセガ、現下ノ日本ノ經濟狀態ヲ仔細ニ眺メテ居リマスルト、何時モ大藏大臣ノ述ベラマシタ通りデゴザイシト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノト承知シテ居ル

○橋本政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答へテ致シマス、此處ニ規定シテト云フ場合ニ、此ノ買戻シガ出來ルモノハ土地ト建物ト是等ノ定著物、ソレカラ鑑業權、砂礫權ニ限ツテ居リマスノデ、御質問ハ多分其ノ範圍ノモノデアラウト思ヒマス、要スルニ建物ヤ土地等ガ變形ヲシテ居ル場合ハ色々ガザヤウスガ、ソレヲ特ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマス、現在ノ状態ノ儘デ其ノ所有權ヲ返還致ス譯デアリマス、勿論其ノ場合ニ元ノ状態ニ直シテ返スコトハ致シマセヌ、現在ノ状態ニ依テ過去ニ存在セル重要子基礎物資ヲ、現在奪ヒ合ヒノ状態デ、之ヲ消

○平岡委員 諒承致シマシタ、次ニ私費財ニ生産シテ、アルヤウナ實情ガ多

金庫人關係ノモノヲシテ有シマス、此ノ分ニ付キマシテモウ少シ詳細ニ御説明申上ゲタタイト思ヒマス
戰時中ニ於キマシテ國民更生金庫ニ於キマシテ支拂ヒマシタ所ノ企業整備關係ノ支拂總額ガ、件數ニ致シマシテ百十萬五十八百十八件、其ノ金額ガ二十六億三千四百五十八萬二千圓ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ中、終戰前ニ於テ現金ニ於テ支拂ハレタモノ等ガゴザイマスノデ、サウ云ソモノヲ差引きマシタ所ノ戰時補償ノ請求權トシテ課稅ノ對象ニナリマスモノハ、總計六十一萬九千九百八十五件、其ノ金額ガ一億一千三百八十八萬八千圓ト云フコトニナリマス、尙ホ之ニ對シマスル所ノ控除額ト致シマシテハ、既ニ決濟濟ミノモノガ、件數ニシテ六十二萬九千六百十四件、金額ニ致シマシテ九億一千四百四十九萬三千圓、尙ホ請求權ノ形ニ於テ控除サレマスモノガ、件數ガ六萬三百七十一件、金額ガ六千五百十一萬三千圓ト云フコトニ相成ル譯アリマス、隨ヒマシテ實際課稅サレマスノハ、總計金額ニ於キマシテ一億三千三百五十八萬二千圓、其ノ内譯ト致シマシテハ、決濟濟ミノモノガ一億二千四百七十萬四千圓、請求權ノ形ノモノガ八千八百八十七萬八千圓ト云フコトニ相成ル譯アリマス、隨ヒマシテ實際課稅サレヲ免レマス所ノモノガ總計二十五億百萬圓、内決濟濟ミノモノガ二十四億二千百七十九萬三千圓、請求權ノ形ノモノガ七千九百二十萬七千圓ト云フコトニ相成ル譯アリマス、全體ヲ通ジマシテ、總計ニ於キマシテハ四十億圓ノモノニ對シ、支拂ノ中、實際課稅サレニ相成ル譯アリマス、全體ヲ通ジマスモノハ七億幾ラデアリマス、又特ニ一般民衆ニ深刻ナ影響ガアルト考ヘ

シテハ、二十六億餘ノ支拂ノ中、實際課税サレマスノハ一億三千萬圓ト云フ。コトニナル譯デアリマス、隨ヒマシテノデハナイカト考ヘラレマス。
○平岡委員 打切りノ對象トシテ、國民更生金庫其ノ他ヲ只今擧ゲラレタノデアリマスルガ、企業整備當時ニ於キマシテ、日ガ經ツテ居リマスノデ、私ハハツキリ記憶シテ居リヤセヌガ、更生金庫デ評價シ補償シマシタ金ヲ他ノ銀行ニ所謂特殊預金トシテ預入シテアル場合ガ大分アルト思フノデアリマス、斯ウシタ場合ハドウ云フ處置ヲセラレマスカ
○福田政府委員 只今御尋ネノ點ハ、補償打切りニ關係ノナイ特殊預金ニ付テハ今後ドウ云フ措置ヲスルカ、斯様ナ點デアラウカト思フノデアリマスルガ、特殊預金ニ付キマシテハ八月十一日現在ノ預金ト同様ニ見マシテ、今後第一封鎖、第二封鎖ニ分ケマシテ、然ル上ニ於テ特殊預金ノ制度ヲ撤廢スルス様ナ方針デ只今準備ヲシテ居リマス
○平岡委員 私ノ尋不ルノハサウ云ツタ意味デハナインデアリマシテ、詰リタル企業整備ニ當ツチ機械其ノ他ノ附屬品ヲ更生金庫ガ引取ツタノデアリマス、サウシテ其ノ代金ガ特殊預金トナル場合、當然普通ダト勸業銀行等ノ預金三合ニ於テ、只今御答辯ニアリマシタヤウナ対象トシテ更生金庫ト云フヤウナ御考ヘト何カ關聯ガアリマスカト云フコトデアリマス

○ 権本政府委員 私カラ御答へテ致シマス、具體的ナ事例ガ分リマセヌカラ
間違ヒガアルトイケマセヌケレドモ、只今ノ御尋ニ對シテ斯ワ申上ダタラ
宜シイト思ヒマス、要スルニ國民更生金庫ガ引取りマシテ、支拂ノ債務ガ國
民更生金庫ニナツテ居ルモノナラバ、打切リノ對象ニナリマス、例ヘバ國民更生
金庫ガ債務ニナツテ居ルモノヲ、サウ云フ特殊預金ヲ受取ツタ人ノ方ニ讓渡シタ
ト云ヤウナ場合ハ、請求權者ハ變ツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、債務目體ハ何時
モ、債務目體ハ何時マデモ國民更生金庫ニナツテ居ル筈デアリマス、斯ワ云
庫ニナツテ居ル筈デアリマス、斯ワ云フモノガアレバ打切リノ對象ニナリマス
ス、併シ何カ國民更生金庫ガ債務者ニナルト云フコトモテイ譯アリマスカラ
ナラナイモノガ或ハ評價等ニ關與スルヤウナコトガアリマシテモ、是廻リ
廻ツテ國民更生金庫ノ損ガ政府ノ損ニナルト云フコトモテイ譯アリマスカラ
ラ、打切リノ對象ニハナリマセヌ
○ 平岡委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○ 本多委員長 中崎敏君
○ 中崎委員 私ノ質問ハ膳國務大臣、
大藏大臣、商工大臣ニ對シテ致シタ
ム思ヒマスガ、本日ハ膳國務大臣ダケ
居テレマスノデ、取敢ズ其ノ範圍ニ於
テ質問シタトイ思ヒマス、残リハ留保
シテ置キタイト思ヒマス
先づ膳國務大臣ニ御尋ネ致シマス
ガ、今回戦時補償打切りニ關スル一聯
ノ法律案ト財產稅法案トヲ一括シテ此
ノ委員會ニ廻サレタ譯デゴザイマス
ガ、期間ガ極メテ短クゴザイマシテ、
僅カ三日間程度デ此ノ委員會ヲ上ダル
ヤウニト云フヤウナ希望ガアルヤウニ
モ聞イチ居リマス、斯クノ如キ重要法
案ハ慎重審議之ヲ行ハナケレバナラヌ

ト云フ我々ハ義務ヲ感シテ居ル譯アヨ
ザイマジテ、政府ノ意圖スル所ニ對シ
マシテハ、之ニ協力シテ行クト云フノ
持ニハ何等變リハゴザイマセヌガ、何
處マデモ我々ハ尋ネル所ハ尋ネルト云
フ氣持ニ於テ此ノ審議ヲ進メテ行クベ
キモノト考ヘテ居リマス、就キマシテ
ハ、斯ケノ如キ重大法案ガ今日マデ提
案サレナカツタ理由ハ何處ニアルノ
カ、殊ニ財產稅法案ノ如キハ昨年ノ月
月頃カラ既ニ之ヲ取ルト云フコトガ確
明サレテ居ツタノデゴザイマスガ、廟
ク今日ニナツテ此ノ法案ノ形トナツテ現
ハレテ來テ居ルト云フヤウナコト、
モウ一ツハ、政府ハ本案ヲ審議スル結
果ニ於テ、今ノ來月七日マデノ會期ニ於
テ間ニ合ハナイト云フ場合ニ於テハ、
更ニ會期ヲ延長スルダケノ用意ヲ持ツ
テ居ルカドウカト云フ點ニ付テ御尋ネ
致シマス

斯様ニ考へて居リマスノデ、目下ノ所
政府ニ於キマシテハ、會期延長ニ關スル問
題デゴザイマスルガ、是ハ初メカドアズウ
云フ重要ナ法案デアルト云フコトハ政
府ニ於テモ既ニ分ツチ居ル、而モ此ノ
委員會ニ一括上程サレマシタ案ハ極メ
テ廣汎ナモノデゴザイマシテ、二日カ
三日カノ審議ト云フコトハ鶴谷ミニス
ルノデナケレバ到底出來ナイコトト思
ヒマス、而モ從前ノ如ク天降リの二政
府ノ意向ヲ以テ我々議員ノ上ニ押付ケ
ラレルト云フヤウナ感ジヲ濃厚ニ受ケ
ル譯デゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キ
マシテハ審議ノ経過ニ依ツテ更ニ會期
ヲ延長スルト云フ氣持ガアルカドウカ
ト云フコトヲハツキリト答辯シテ戴キ
タイト思ヒマス

○ 膳國務大臣 會期ノ延長ニ付キマシ
テハ只今申上ガマシタ通り、延長ナシ
ニ御審議ヲ御願ヒシタイ、斯様ニ考へ
テ居リマス譯デアリマス

○ 中崎委員 只今ノ膳國務大臣ノ答辯
ニ對シマシテハ、會期延長ニ關スル問
題デゴザイマスルガ、是ハ初メカドアズウ
云フ重要ナ法案デアルト云フコトハ政
府ニ於テモ既ニ分ツチ居ル、而モ此ノ
委員會ニ一括上程サレマシタ案ハ極メ
テ廣汎ナモノデゴザイマシテ、二日カ
三日カノ審議ト云フコトハ鶴谷ミニス
ルノデナケレバ到底出來ナイコトト思
ヒマス、而モ從前ノ如ク天降リの二政
府ノ意向ヲ以テ我々議員ノ上ニ押付ケ
ラレルト云フヤウナ感ジヲ濃厚ニ受ケ
ル譯デゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キ
マシテハ審議ノ経過ニ依ツテ更ニ會期
ヲ延長スルト云フ氣持ガアルカドウカ
ト云フコトヲハツキリト答辯シテ戴キ
タイト思ヒマス

○ 膳國務大臣 會期ノ延長ニ付キマシ
テハ只今申上ガマシタ通り、延長ナシ
ニ御審議ヲ御願ヒシタイ、斯様ニ考へ
テ居リマス譯デアリマス

○ 中崎委員 此ノ點ニ付キマシテハ一
應承ツテ置キマスガ、我々ハ自分ノ信
念ニ從ツテ何處マデモ尋ねルコトハ尋
ネル、質スペキコトハ質スト云フ方針
ヲ以テ進ミタイト思ツテ居リマス

○ 次ニ補償打切りニ關スル石橋大藏大
臣ト膳國務大臣ノ信念ニ付テ御伺ヒシ
タイト思ヒマスルガ、大藏大臣ハ今居
ラレマセヌノデ、後ノ機會ニスルコト
ト云フコトニ付テマダ何モ決定致シテ
居リマセヌ、此ノ會期ノ中ニ是非トモ
兩院ノ御審議ヲ終了願ヒマシテ御協賛
ヲ得タイト云フコトヲ急ジテ居リマス
バカリデアリマス

○ 中崎委員 只今ノ膳國務大臣ノ答辯
ニ對シマシテハ、會期延長ニ關スル問
題デゴザイマスルガ、是ハ初メカドアズウ
云フ重要ナ法案デアルト云フコトハ政
府ニ於テモ既ニ分ツチ居ル、而モ此ノ
委員會ニ一括上程サレマシタ案ハ極メ
テ廣汎ナモノデゴザイマシテ、二日カ
三日カノ審議ト云フコトハ鶴谷ミニス
ルノデナケレバ到底出來ナイコトト思
ヒマス、而モ從前ノ如ク天降リの二政
府ノ意向ヲ以テ我々議員ノ上ニ押付ケ
ラレルト云フヤウナ感ジヲ濃厚ニ受ケ
ル譯デゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キ
マシテハ審議ノ経過ニ依ツテ更ニ會期
ヲ延長スルト云フ氣持ガアルカドウカ
ト云フコトヲハツキリト答辯シテ戴キ
タイト思ヒマス

ヲ願ヒタトイ思ヒマス、膳國務大臣ハ在野時代ニ於カレマシテ、補償打切りハ財界ニ大ナル影響ヲ及ボスモノナルガ故ニ反対テアルト云フコトヲ主張シテ居ラレタ一人デアルト承ツテ居ルノデザザイマス、然ルニ拘ラズ其ノ職ニ就カレルヤ否ヤ、恬然トシテトハ申ナケレバナラヌト云フコトニ變ツテ來テ居ラレル譯デゴザイマスルガ、其ノ心境ニ變化ト申シマスカ、情勢ノ變化ト申シマスカ、此ノ點ニ付キマシテ答辯ヲ願ヒタトイ思ヒマス

○膳國務大臣 一私人トシテ色々々ノコトニ付キマシテ私ガ申上げタコトニ付テ辯解スルコトハ甚ダ屑シトシナインデアリマスガ、私實ハ今マデ明瞭ニ此ノ問題ニ付テ世間ニ自分ノ意見ヲ發表打切りト云フヤウナ形デナク政府ノ財政ノ整理又擬制資本ノ切捨ト云フヤウノ從來ノ考へ方致シマシテハ、補償範圍ハ本當ノ軍需會社等直接戰爭ニ影響ヲ持ツテ居ツタモノニ限ツテ考へテモ宜イノデ、ハナイカト云フ風ナ考へタル通リ、色々整理ノ仕方ニ付テハ拂ベキモノハ拂ツテ、更ニ財產稅及び戰時利得稅等ノ方法ニ依ツテ之ヲ提案理由ニ申述べテアリマス

○中崎委員 ドウモハツキリ致シマセヌガ、主トシテ内外ノ情勢カラ厭ヤクナツタノデアルカドウカヲ改メテ御尋不致シマス

○膳國務大臣 個人ノ意見ハ公ノ政策ノ定マル前ニハ問題ガ自ラ別デアラウト存ジマス、日本ノ政府ト致シマシテハ厭ヤ／＼ナガラデハアリマセヌ、是ガナサナケレバナラナイト云フ強イ確信ノ下ニ、又之ヲヤツテ初メテ財政ノ安固經濟ノ再建ガ圖リ得ルノダト云フ

○中崎委員 舉足ヲ取ルヤウデゴザイマスガ、個人ノ意見ハ云々ト言ツテ居シタ機會モゴザイマセデシタガ、併シ御尋ネオノ中ニアリマスルヤウニ、私ノ從來ノ考へ方致シマシテハ、補償打切りト云フヤウナ形デナク政府ノ財政ノ整理又擬制資本ノ切捨ト云フヤウ

○膳國務大臣 トニ付キマシテ私ガ申上げタコトニ付テシタ機會モゴザイマセデシタガ、併シ御尋ネオノ中ニアリマスルヤウニ、私ノ從來ノ考へ方致シマシテハ、補償打切りト云フヤウナ形デナク政府ノ財政ノ整理又擬制資本ノ切捨ト云フヤウ

○中崎委員 舉足ヲ取ルヤウデゴザイマスガ、個人ノ意見ハ云々ト言ツテ居シタ機會モゴザイマセデシタガ、併シ御尋ネオノ中ニアリマスルヤウニ、私ノ從來ノ考へ方致シマシテハ、補償打切りト云フヤウナ形デナク政府ノ財政ノ整理又擬制資本ノ切捨ト云フヤウ

○膳國務大臣 トニ付キマシテ私ガ申上げタコトニ付テシタ機會モゴザイマセデシタガ、併シ御尋ネオノ中ニアリマスルヤウニ、私ノ從來ノ考へ方致シマシテハ、補償打切りト云フヤウナ形デナク政府ノ財政ノ整理又擬制資本ノ切捨ト云フヤウ

○中崎委員 舉足ヲ取ルヤウデゴザイマスガ、個人ノ意見ハ云々ト言ツテ居シタ機會モゴザイマセデシタガ、併シ御尋ネオノ中ニアリマスルヤウニ、私ノ從來ノ考へ方致シマシテハ、補償打切りト云フヤウナ形デナク政府ノ財政ノ整理又擬制資本ノ切捨ト云フヤウ

○膳國務大臣 色々考へ方モゴザイマ
スケレドモ、實質的ニ考へマシテ斯ク
ノ如キ措置ヲ執ル外途ガナイ、又是ガ
將來ニ向ソテ日本ノ再建ヲ圖ル上ニ最
善ト信ジマシテ、又法律上ノ見解ニハ
色々見方モアラウト思ヒマスケレド
モ、政府ハ之ヲ適切ナリト信ジタ譯デ
アリマス

○中崎委員 法不遡及ノ原則ニ反スル
ト云フコトノ説明ニナツテ居リマセヌ
ガ、是ハ今日ノ國家情勢ニ於テ已ムヲ
得ズ執ツタ所ノ應急措置デアルト云フ
意味ダト解釋致シマシテ、此ノ問題ニ付
テハ此ノ程度ニシテ追究ヲ致シマセヌ
次ニ政府ハ負擔ノ公正ヲ期スル爲ニ
如何ナル考慮ヲ拂ハレタカ、言換ヘレバ
補償打切りニ依リマシテ凡ユル部面ニ
東風當リガ生ズル、サウシテ場合ニ依レ
バ不當ニ財産ノ侵害ヲ受ケルト云フヤ
ウナ結果ニモナルシ、或ハ事業ニ於テ大
キナ打撃ヲ受ケル結果ニモナル、所ガ
是ガ公平公正ニナサレタモノノデアルト
スレバ已ム得ナシ處置デアリマス
ガ、此ノ點ニ付テ如何ナル處置ヲ執ラ
レルカ、先づ此ノ見地カラ第一ニ今回
政府ノ行ハレントスル所ノ打切り方法
ハ決シテ策ノ得タルモノデナイ、先づ
打切りハ打切ル、企業ノ再建ハ再建、
皆ノ負擔ハ皆ノ負擔ト云フ風ナ形ニ於
テヤルノガ一ツノ方法ダト思フ譯デア
リマスガ、此ノ點ニ付テ第一ニ御尋ネ
致シマス

今御述べニナラレマシタヤウナ途デ行
クノモ一ツノ途トコトノ結論ヲ得マシ
ガ、是モ度々申上ゲマス通リ、色々ノ
案ヲ政府ニ於テ比較研究ヲシマシタ結
果、今回執リマス途ニ依ルノガ最モ合
目的デアルト云フコトノ論理ヲ得マシ
タガ故ニ、斯様ナ途ヲ執ラウト云フ譯
ツタコトハ今マデモ度々説明申上ダ
所デ御説承ガ願ヒタイト存ジマス
○中崎委員 第二ノ點ニ付テ御尋ネシ
マス、此ノ打切りニ依ル損失ヲ全體
「ブール」トシテ考ヘテ見ラレタデセウ
カ、言換ヘレバ企業ノ中ニモ、中ニハ
打切りノ結果利益ノ生ズル所モアル、
中ニハ相當赤字ノ出ル所モアルノデア
リマス、是ハ企業全體トシテ考ヘテ見
ル必要ガアルノデハナイカ、金融機關
ニ付テモ同じコトガ言ヘルノデアリ
マス、甲ノ銀行ハ偶々軍需會社ニ對
シテ澤山ノ金ヲ出シテ居ツタ爲ニ、
預金者ニ思ハザル所ノ餘分ノ損害
ヲ掛ケル虞ガアル、所ガ他ノ金融機關
ニ於テハ戦争ニ於テ何等協力シナカツ
タデモアリマセヌガ、色々ナ事情カラ
金ノ貸出ガ少カツタガ爲ニ、此ノ打切
リニ依ル打撃ガ少カツタ、斯ウ云フ場
合ガ考へラレル譯デアリマスガ、之ヲ
金融機關全體トシテ或ハ又企業全體ト
シテ、一ツノ「ブール」トシテ考ヘテ見
タナラバ、割ニ公平ナト言ヒマスカ、
大衆ニ迷惑ヲ掛ケナイデモ濟ムノデヤ
ナイカト云フヤウニモ考ヘラレマス
ガ、此ノ點ニ付テノ御見解ヲ御伺ヒ致
シマス

タガ、論議セラレ、又研究サレマシタタ
一ツノ問題デゴザイマス、併シ是モ實
際問題ニナリマスト中々困難ノ點ガアリ
リマスノデ、結局一時研究ノ題目ニハ
ナリマシタガ、左様ナ案ハ探ラズニ、
此ノヤウナ方法ヲ採ルヤウニ相成リマス
シタ次第アリマス、御諒承願ヒマス
○中崎委員 第三ニ御尋ネシマスガ、
企業再建整備案ノ第三條ニ依リマスガ
ト、第二封鎖預金額ガ支拂ヲ超エルコ
トガ出来ヌヤウニハツタ場合ニ生ズル
所ノ損失ハ、補償サレルコトニナツシ
居リマスガ、中小企業ガ何等ノ保護ヲ
受ケヌト云フ結果ニナルノデ、中小企
業ト云フモノニ對スル國家ノ保護ガ薄
イノデハナイカト云フヤウニ考ヘラ
ルノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テ御
伺ヒ致シマス

○**福田**政府委員 只今御尋ね所點アリマセヌ
リマスルガ、第二封鎖預金ガ特別經理會社ノ自由ニナルト云フ場合ニ於キマシテ
テモ、第二封鎖預金ニ付テ特別ノ措置ヲ致ス、斯様ナコトアリマセヌ、隨
ヒマシテ特別經理會社ニナラナイモノノ、即チ仰シャル通り中小工業ト云フ
モノト均衡ヲ失スルト云フヤウナコトハ絶対ニアリマセヌ
○**中崎委員** 次ニ擬制資本ノ整理ノ問題
題ニ付テ御尋ね致シマスガ、商工大臣ハ是ハ企業ノミガ此ノ打切り依ル所ノ損失ヲ負擔スペキモノデハナイト云フ
風ニ言ウテ居ラレマスガ、或ル一面ニ於テハサツ云フコトモ考ヘラレマスルガ
ガ、元來此ノ損失補償ノ打切り依ル所ノ企業ハ今回ノ如キ打切りノ問題題
合ニ依レバ自分デ大賭博ヲヤツタ考ヘラレル、言換ヘレバ自分デ一ツ時
起ツタノハ直接車ノ生産ニ携ハリ、自ラ云々或ハ特別ノ補償ニ依ル所ノ恩惠ヲ
受ケルト云フコトニ依ツテ、今日マダカラ此ノ事業ト云フモノガ發展シテ行
ツテ、サウシテ大キナ政府カラノ命令会
云フ方面ノ事業ト云フモノハ當然ニ其ノ責任ハ其ノ事業自體ニアルノダ、更
又其ノ重役トカ或ハ此ノ事務ニ携ツテ居ル所ノ幹部級ノ人々ハ、政付カラ出
紹ラレテ居ルト云フヤウナ結果ニナリスガ、其ノ點ニ付テ御尋ね致シマス

サレタ所ノ金ヲ寄貯シマシテ、設備トカ其ノ外ノモノニ金ヲ注込ダ如クニ装ウテ、サウシテ多ク裏カラ自分ノ懷口ヘ振込シ居ツタト云、フヤウナコトガ多々アル譯デゴザイマスガ、斯クノ如キモノニ對シテハ如何ナル處置ヲ執ラレルカ、言換ヘレバコンナ會社ハ當然ニ赤字ヲ生ジテ居ル、其ノ赤字ヲ埋メルノニ一般ノ債權者ニ對シテ、其ノ債權者ノ負擔ニ於テ、犠牲ニ於テ、之ヲ處理サレルト云ノガ本法案ノ趣旨デゴザイマスルガ、斯クノ如ク一面ニ於テハ自分達ガ不當ナコトヲヤツテ、サウシテ其ノ赤字ノ缺ヲ一般ノ債權者ニマデ及ボスト云フ風ナコトニナルノハ、極メテ今日ノ觀念カラ言ウテ不正不當ナモノダト考ヘテ居リマスガ、之ニ對スル所ノ一ツノ責任追究ノ方法ヲ講ジラルベキモノノデハナイカ、財產稅法案ニ依リマスト、第三者ノ通報制ト云フモノヲ認メラレ居ル譯デアリマスガ、此ノ法案ニ付テモヤハリ現在マデニサウ云フコトガアツタモノ、或ハ此ノ法案ニ基ク所ノ整備計畫ニ反スルト云フ風ナコトニ依ツテ、或ハ品物ヲ不當ニ賣出ス或ハ又其ノ特殊ノ者ニ利益ヲ得セシメテ、自分ハ裏カラ「ポケット」ヘ入レル、斯ウ云フ風ナ者ガ多々アルト考ヘル譯デアリマス、或ハ又子會社ガ違反ヲシテ居ルト云フヤウニ責任ヲ子會社ニ轉嫁シナガラ涼シイ顔ヲシテ元會社ガ利益ヲ受ケテ居ルト云フ風ナ例モ多々アル譯デアリマスガ、斯クノ如キモノニ對シテハ第三者ノ通報制ト、更ニ又此ノ經理ニ付テタルコトニ依ツテ之ヲ是正スルト云フ風ナ用意ガ政府ニアルカドウカ

○膳國務大臣

今ノ御説ノヤウナ事例

成ル譯アリマスガ、其ノ資産ノ評價

ツテ、例ヘバ擔保權ガ付イテ居ツテモ

ニ依ツチ會社ハ全資本金ヲナクシテシ

ナ關係ガアリマスノデハツキリト御聽

ハ或ハアルカモ知レマセヌ、サウ云フ

益ヲ出シマス場合ニ、如何ナル面カラ

コトモ、是レ亦整備計畫ノ内容トシテ

居ナクテモ、總テ平等ニ切捨テラレル

マフ譯デス、尙ホソレデ足リナイ場合

ベキ途ハ外ニアリマスカラ、此ノ戰時

ドレダケノ評價ヲ出スカト云フヤウナ

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

ト云フコトニ相成リマス

ト云フコトニ相成リマス

補償ノ打切りノ問題ニ付テ、サウ云フ

ハ、先づ棚卸資産等ノ丸公ノ決マツテ

居ルヤウナモノカラ出シテ貴ヒタイト

リマス

ヲ織込ンデ、同時ニ裁判ヲシツ、整理

決メラルベキモノデアラウト思ヒマス

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

較ニ於テ、ドンナ順位デ其ノ債權全體

ヲサセルト云フヤウナコトハ考ヘテ居

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

ガ切捨テヲ食フカ、斯ウ云フ問題デア

リマセヌ

○中崎委員 政府ノ斯グノ如キ觀念ガ

云フ希望ヲ持ツテ居リマス、尙ホ固定

資產ノ處理ノ問題ニ付キマシテモ、舊

勘定ニ屬シマス所ノ不要證備ナドハ、

云フコトニナリマセヌ、總テ割合ニ

ト云フモノハアリマセヌ、總テ割合ニ

スメタモノダト考ヘテ居リマス、苟ク

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

較ニ於テ、ドンナ順位デ其ノ債權全體

モ國民ニ實ニ言ノニ堪ヘナイ所ノ多大

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

ガ切捨テヲ食フカ、斯ウ云フ問題デア

ノ負擔ヲ掛ケル所ノ此ノ法案ヲ整備ス

リマス

云フコトニナリマセヌ

遂ニ國民道義ヲ今日ノ如キ頗廢ニ至ラ

スカドウカハソレム、整備計畫ノ中

ト云フモノハアリマセヌ、總テ割合ニ

思想ヲ頗廢セシメタ所ノ大キナ原因因ダ

ト云フモノハアリマセヌ、總テ割合ニ

ト云フモノハアリマセヌ、總テ割合ニ

スメタモノダト考ヘテ居リマス、苟ク

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

較ニ於テ、ドンナ順位デ其ノ債權全體

虐無道ナル者モ其ノ儘ニ放任スルト云

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

較ニ於テ、ドンナ順位デ其ノ債權全體

フヤウナ此ノ政府ノ方針ガ、今日國民

スカドウカハソレム、整備計畫ノ中

ト云フモノハアリマセヌ、總テ割合ニ

ノ負擔ヲ掛ケル所ノ此ノ法案ヲ整備ス

リマス

云フコトニナリマセヌ

思想ヲ頗廢セシメタ所ノ大キナ原因因ダ

ト云フモノハアリマセヌ、總テ割合ニ

スメタモノダト考ヘテ居リマス、苟ク

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

較ニ於テ、ドンナ順位デ其ノ債權全體

虐無道ナル者モ其ノ儘ニ放任スルト云

ケレドモ、我々ノ一應ノ考ヘ方トシテ

較ニ於テ、ドンナ順位デ其ノ債權全體

ハ止メマス

次ニ此ノ法案ニ依ツテ補償打切りヲ

リマス

サレル所ノ企業ハ、經理ノ内容ヲ整理

リマス

シマス場合ニ於テ、此ノ損失補填ニ充

リマス

テル物件ノ順位ヲ御尋ネ致シマス、言

リマス

換ヘマスト先ヅ第一ニ預金ナラ預金ヲ

リマス

以テスル、次ニハ債權ヲ以テ之ニ充テ

リマス

ト考ヘテ居ル譯アリマスガ、此ノ點

リマス

ニ付キマシテハ是レ以上追究スルコト

リマス

ハ止メマス

次ニ此ノ法案ニ依ツテ補償打切りヲ

リマス

思想ヲ頗廢セシメタ所ノ大キナ原因因ダ

リマス

ト考ヘテ居ル譯アリマスガ、此ノ點

リマス

ニ付キマシテハ是レ以上追究スルコト

リマス

ハ止メマス

次ニ此ノ法案ニ依ツテ補償打切りヲ

リマス

サレル所ノ企業ハ、經理ノ内容ヲ整理

リマス

シマス場合ニ於テ、此ノ損失補填ニ充

リマス

テル物件ノ順位ヲ御尋ネ致シマス、言

リマス

換ヘマスト先ヅ第一ニ預金ナラ預金ヲ

リマス

以テスル、次ニハ債權ヲ以テ之ニ充テ

リマス

ト考ヘテ居ル譯アリマスガ、此ノ點

リマス

ニ付キマシテハ是レ以上追究スルコト

リマス

ナ關係ガアリマスノデハツキリト御聽

キシテ置キタイト思ヒマス

○三木政府委員 壱切リ方トシテアリマス

ウニ、缺損ヲ繰越ザザル以上ハ未拂込

ハ債券ガ三割減ツテ居リマスカラ其ノ

三割ヲ又切ツテシマフ、左様ナコトニ

ナリマス

○中崎委員 次ニ未拂込ノ徵收ハ其ノ

次ノ順序ニナルノデスカ

○三木政府委員 未拂込ヲ徵收致シマ

スカドウカハソレム、整備計畫ノ中

デ決マツテ參ル譯アリマスガ、其ノ

場合ニ資本金ノ九割マツ切ルノデアリ

マスカラ、其ノ時ニ若シ未拂込ガアリ

マシタナラバ、是ハ整備計畫ノ關係ニ

ナツテ參リマスケレドモ、實際ノ問題ト

致シマシテハ未拂込ヲ徵收ゼザルヲ得

ナイダラウト思ヒマス、若シ未拂込ヲ

微收セズシテ其ノ損失ヲ填補シヨウト

思ヘバ、繰越缺損ノ形ヲ取ラザルヲ得

ナイト思フノデアリマスガ、政府ノ一

應ノ認可ノ方針ト致シマシテハ、成ベ

ク繰越缺損ト云フノハ認メナイ、出來

ルダケ茲デ缺損ヲ切捨テ参リタイ

斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、繰越缺損

ヲ認メザル以上ハ當然拂込ヲ取ル、拂

込ヲ取ラレタモノハ更ニ打切ル、斯様

ナコトニ相成リマス

○中崎委員 今ノ第一回ノ株式ノ九割

マツ打切ルコトニナリマスルカ、或

ハ次ニ最後ニ全部打切ルト云フコトニ

ナルカト云フコトニナリマスガ、ソレニ

對スル所ノ未拂込金ハ、第一回ニ打切

タトイタ思ヒマス

○三木政府委員 拂込ヲ取ルカドウ

ノ債權ヲ七割ナリ切捨テルト云フ風ナ

越金ソレカラ資産ノ評價替ヘト云フコ

ノ債權ヲ七割ナリ切捨テルト云フ風ナ

越金ソレカラ資本金九割マツ切ル、其ノ次ニ債

主務官廳ニ於テ能ク見マシテ、ソレゾ

萬圓切ル、第二ニ其ノ資産ノ評價、替

リマス

スカドウカハソレム、整備計畫ノ中

當然資產ノ分ニ計上シテアルノデアリ

マス、隨テ此ノ未拂込ヲ以テ損失ヲ填

補シヨウト思ヒマスケレバ、當然拂

込ヲ取ル、其ノ拂込ヲ取ラタケデハ

云フ結果ニナルノデアリマス

損失金ガ填補ニナラノデアリマス

マス、取ツタモノモ更ニ打切ルト云フコ

ス、取ツタモノモ更ニ打切ルト云フコ

トニ依ツテ初メテ損失ガ填補サレル譯

ナツテ參リマスケレドモ、當初ノ九割マツ

切ツタ時ニハ未拂込ヲ取ルコトニナリマス

○中崎委員 サウシマスト云フト、第

一回ニ資本金ノ九割マツ切リマシテ、次

ニソレデ足リナイト場合ニハ今度ハ九割

ノ債權ヲ埋メテ、サウシテ最後ニ最

ノ割ノ拂込ヲ取ルコトニナリマスノ

デ、最初ノ九割切ラレタ時ニ拂込ヲ取

ラナケレバ取レナインオカ、或ハ其ノ分

置ケバ申分ナインオデスガ、其ノ時ニ取

ラナケレバ、今度ハ債權ヲ以テ又残リ

テ、ノ債權ヲ取ルカドウノヤウニ全體如何ナル方法

ニ依ツテ填補スルカト云フコトニナリマシテハ、先づ當然整

理計畫ヲ立テマスルカラ、其ノ時ニド

レダケ特別損失ガ出來タ、ソレヲ如何

トハ豫メ分ル譯デアリマス、而モ整埋
計畫ヲ立テマス時ニハ、既ニドレダケ
ノ拂込ヲ取ラケレバナラヌカ、ドレ
ダケヲ切ラナケレバナラヌカト云フコ
トガ全部分ツテ居ルト思ヒマスカラ、
二度ノ手間ハ要ラナイ譯デアリマス
○中崎委員 整備計畫ノ内容ニ付テハ
個々色々な場合ガアルカト思ヒマス
ルカラ、ソレハ間ハストシマシテ、整
備計畫ヲ立テルマデノ一ツノ常則、所
謂根本ノ原則ト云フモノハ、法律ニ於
テ豫メ明記スル必要ガアルカト思ヒマ
スガ、今ノヤウナ場合ハ、整備計畫ノ
リマスルカラ、第一回ノ資本金ヲ九割
捨テタ時ニ未拂込ナル分ハソレヲ取
ルノカ、或ハソレハ其ノ儘ニシテ置イ
テ更ニ残リノモノヲ以テ當テ、更ニ
足ラヌ場合ニハ一割切捨テルノデス
ガ、其ノ切捨テタ時ニ、最後ニ今度ハ
改メテ過去ニ溯ツテ取ルカドウカト云
フ問題ニ付テハツキリシテ戴キタイト
思ヒマス

○本多委員長 休憩致シマス
○中崎委員 宜シウザイマス
○本多委員長 ソレデハ午後一時マデ
休憩致シマス
午後零時九分休憩
午後二時三十八分開議
○本多委員長 会議ヲ開キマス、休憩
前ニ引續キ質疑ヲ進メルノデアリマス
ガ、昨日ノ北村委員ノ質問ニ對シ政府
側ヨリ答辯が残ツテ居リマスノデ、此
ノ際答辯ヲ求メマス
○奥野政府委員 私カラ便宜昨日ノ北
村委員ノ御質疑ニ對シテ御答辯申シタ
イト思ヒマス、御質問ノ御趣旨ハ、連帶
債務者ノ一人ガ企業再建整備法ニ依
ツテ債権ノ消滅ガアツタ場合ニ、他ノ連
帶債務者ノ債權ニドウ云々影響
スルカト云々問題ト考ヘマス、同種ノ
問題ハ、保證人ガアツタ場合ニ保證債務
ニドウ云々影響ヲ及ボスカ、或ハ又
連帶保證人ガアツタ場合ニ、其ノ連帶
保證人ノ債務ニドウ云々影響ヲ及ボス
カ、及ビ連帶債務者ガアル場合ニ連帶
債務者ノ債務ニドウ云々影響ヲ及ボス
カ、此ノ三ツノ場合ガ同様ノ事柄デアリ
ルヤウニ考ヘマス、ヨコデ先ツ保證人
ノ場合ニ付キマシテ、保證債務ハ主タ
ル債務ノ從タル性質ヲ持ツテ居リマス
モ其ノ限度ニ消滅スルコトニナルト思
マシテ其ノ債務ノ一部等ガ消滅スルコ
トニナリマスト、從タル保證人ノ債務ハ
一種ノ保證デアリマスルガ故ニ、從屬
性ノ關係カラ致シマシテ、主タル債權
ガ打切りニナリマスト、其ノ限度内ニ

於キマシテ從タル連帶保證債務を當ル其ノ限度ニ於テ縮小消滅スルコトニナルト考へマス
而シテ最後ノ單純ナル連帶債務ノ場合ハドウナルカト云フ問題デアリマス
ガ、連帶債務ハ御承知ノヤウニ、數人各々金額ノ債務ノ履行ニ當ルト云
フ、各人獨立ノ金額履行ノ債務デアリマシテ、其ノ間ニ主従ノ關係ガアリマ
セヌ、保證債務ノヤウニ從タル關係ト云フモノガナクテ、謂ハバ各人ガ主タル關係ト云フモノガナクテ、原理トシテ他ノ債務者ノ債務ガアリマス、民法上、民法ノ原則ニ依リマスト、民法四百四十條ニ依リマスト、一人ノ債務者ノ債務ガアリマス、他ノ債務者ノ債務ニ影響シナイト云フニ考ヘマス、コトニナツテ居リマス、ソコデ此ノ場合ニ於キマシテ一人ノ債務者ノ債務ガアリマス、此ノ連帶ト云フ文字ガアルレバナラナイ事柄ハ、普通ニ連帶債務ト非常ト言ヒマシテモ、實ハ連帶保證ト非常ニ混同サレテ使用サレテ居リマス、唯コ、デ御注意ヲ致シテ置カナケンアル場合ガ多イノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ大審院ニ於キマシテアル債務デアルトハ斷定サレ得ナイノデアリマシテ、此ノ場合デモ連帶保證デアルト云フニ見ルベキモ、單ニ連帶トアルカラト言ツテ直チニ連帶債務デアルト云フニ見ルベキモ、單ニ連帶債務デアルカラト言ツテ直チニ付キマシテハ大審院ニ於キマシテアルカ、連帶保證デアルカラト云フニ見ルベキモ、單ニ連帶トアルカラト言ツテ直チニ付キマシテ、ソレガ連帶保證デアリマスト、主タル債務ガナクナリマスト、連帶保證債務モ其ノ限度ニ於テ消滅スルルト考ヘマス

ト云フコトニナルト考ヘマス
○北村委員 今ノ御答辯ハ能ク分リマ
シタガ、連帶債務等ニ連帶保證人ニ
スルコトハ私ノ質問外デアリマス、御
尋ネシタノハ連帶債務其ノモノニ付テ
デアリマス、御尋不致シマシタノハ、企
業再建整備法案ノ第十九條ハ、連帶債
務ノ者ニこそ此ノ法ニ依ツテ全部ニ打切
リガ效果ヲ發生スルト云フコトヲ法ハ
期待シテ居ルノデハナイカ、若シソレ
ナラバ何カ表現ニ不備ガアルノデハナ
イカ、斯ウ云フ點ヲ質問致シタノデア
リマシテ、只今ノ法ノ解釋ニ依リマス
ルト、此ノ第十九條ノ規定ハ、規定其
ノモノニ何等カノ修正ヲ加ヘル必要が
アルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘル譯デ
アリマス、其ノ點ニ付テ尙ホ御答辯ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○奥野政府委員 立案ノ當時ニ於キマ
シテ、其ノ問題が非常ニ問題トナリマ
シテ、一時ハ保證債務トカ、或ハ連帶
債務ニ付テノ事柄ヲ色々規定シヨリソ
シタ段階モアツタノデアリマスルケレ
ドモ、結局實質ニ於キマシテ保證債務
或ハ連帶保證債務ハ、其ノ限度ニ於キ消
滅セシムルガ相當デアルガ、本當ノ章
味ノ連帶債務ハソレダケ之ニ依ツテ債
權者ノ方ガ強ク保護セラルベキ性質ノ
モノデアルト云フコトデ、單純ナル連
帶債務ノ時ニハ連帶債務者ノ債務ニハ
影響シナイコトニスル積リデ、何等其
ノ點ノ規定ヲ結局設ケナコトニナツ
タ譯デアリマス

○北村委員 了承シマシタ
○本多委員長 次ニ、昨日金光委員ノ
質問ニ對スル答辯が残シテ居る分ガヒ
リマスノデ、此ノ際政府ノ答辯ヲ願ヒマ
ス

整備法ニ引用シテ居リマスル所ノ勅令
施行竝ニ命令施行ノ概要ヲ御説明申上
ゲマス、實ハ此ノ企業並ニ税ノ關係ニ
アリマシテハ、御手許ニ書類ヲ配付
來タノデアリマスルガ、金融機關ノ關
係ニ付キマシテハ、關係方面ト尙ホ幾
多折衝ヲ要スル點ガアリマスノデ、御
配リスルコトガ出来ナイコトヲ洵ニ殘
念ニ思ヒマス、併シナガラ私共ガ只今
考へテ居リマスル所ノコトヲ率直ニ此
處デ申上シゲテ見タイ、斯様ニ思フノデ
アリマス

先づ第四條ニアリマスガ、第四條ノ
「勅令で定めるものは」トアリマス、此
ノ勅令ニ於キマシテハ、債權ガ金融機
關ニ於テハツキリト分ツテ居ルト云フ
性質ノモノヲ特掲致シマシテ、是ハ調
査ノ必要方ナイ、申告ノ必要ガナイト
云フコトヲ決メル譯アリマス、ソレ
カラ「勅令で定めるものは、命令の定
めるところにより、」ト云フ其ノ命令
ハ、手續様式ヲ定メル、ソレカラ「主
務大臣の指定する日」トアリマスノ
ハ、十一月末アリマス、十一月末マ
デニ此ノ調査ヲ致シマシテ金融機關ニ
申出デナケレバナラナイ、斯様ナコト
ニナル譯アリマス

ソレカラ第五條ニ行キマシテ、三行
目ニ「金融機關は、命令で定める金額
を、假にその負債の確定金額として、
舊勘定の整理を行はなければならな
い。」アリマスルガ、是ハ命令ヲ定メル
金額ト申シマスルノハ、疑義等ガアリ
マスル場合ニ於キマシテハ、其ノ一番
大キナ額ニ依ル——多額ノ大キナ額ニ
依ツテ整理ヲ致ス、斯様ナコトヲ規定
シテ居ル譯アリマス、左様ニ致シマ
シテ調査ノ安全性ヲ保ツテ居ルト云フ
譯アリマス

ソレカラ第六條ニ參リマシテ、「金融機關は、命令の定めるところにより、」トアリマスルガ、此ノ命令ハ、主務大臣ニ提出スル書類ノ様式トカ、サウ云フ形式的ナ調査要領ヲ決メルモノデアリマス、ソレカラ六條ノ「主務大臣の指定する日までに、」トアリマスルガ、是ハ十二月末ト云フコトヲ一應考ヘテ居リマス、十二月末マデニ其ノ調查ヲ完了スルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス
ソレカラ第七條ニ參リマシテ、「金融機關の舊勘定の資産及び負債並びに指定時における新勘定の資産及び負債のうち、命令で定める以外のものについては、評價基準が設けられる。」ト云フノデアリマシテ、此ノ命令ニ於キマシテハ、現金ダトカ、ソレカラ金錢信託トカ、ソレ以外ノ信託ダトカ、或ハ「インターネットバンク」ノ貸借デアルトカ、斯様ナモノニ付キマシテハ評價基準ヲ設ケル必要ガナイノデアリマシテ、左様ナモノハ評價基準カラ除外サレルト云フコトガ規定セラレルノデゴザイマス
ソレカラ第八條ニ參リマシテ、第八條ノ「金融機關は、主務大臣の指定する時において、その時における舊勘定の資産及び負債並びに指定時における新勘定の資産及び負債について、命令の定めるところにより、」ト云フ命令ガアリマスルガ、是ハ暫定評價基準ヲ定メマス其ノ時期マデニ暫定評價基準ガ決マツタ財産ダケニ付テ暫定評價スレバ宜シイ、評價基準付キマシテハ評價スル必要ガナイドガ其ノ時マデニ決マラナカツタモノニ云フコトヲ書イテ居ル譯デアリマス、更ニ第二項ニ參リマシテ、「命令の定

及び負債について、トアリマス其ノ命令ハ、手續デアリマス、ソレカラ最後ノ行ニアリマス「主務大臣の指定する日までに、これを主務大臣に提出しなければならない。」トアルノハ、是ハ二月十五日アリマス、此ノ二月十五日ト云フコトヲ豫定シテ居ルノデアリースルガ、之ニ依リマシテ金融機關ノ新定評價ト云フモノハ二月十五日マデ完了スル、斯様ナコトニナルノデアリスカ

○本多委員長 一寸福田政府委員ニ御伺ヒ致シマスガ、相當時間ヲ要シスカ

○福田政府委員 アト二十分位ハアリマス

○本多委員長 沖ニ恐縮デスガ、大臣ガ御見エニナリマシタゾデ、纏纏思ヒマスノデ、途中デスケレドモ一寸保留シテ戴キマス——中崎敏君

○中崎委員 午前中ニ政府委員ニ對マシテ、未拂込金ノ徵收ニ關ル質問ヲシタ譯アリマスガ、此ノ點ニ付キモウ一度改メテ御説明ヲ願ヒタイト用ヒマス

○三木政府委員 午前中ノ中崎委員ニ御質問ニ對シマシテ御答ヘラ致シマス、特別經理株式會社ハ其ノ特別損失ヲ負担スル場合ニ於キマシテ、其ノ資本金ノ全部、即チ拂込資本ト未拂込資本マス、法父ノ第七條第一號及ビ第三號ニ資本額ノ十分ノ九、又ハ十分ノ二ト規定シテアリマスノハ、斯様ナ意味ニ於テ、未拂込モ合計全資本ノ十
分ノ九又ハ十分ノ一ト云フ意味デアリ

マス、尙ホ序デデゴザイマスカラ、企業再建整備法ニ關係ノ命令事項ハ別ニ印刷ニ致シテ居リマスノデ、間モナク御手許ニ配付致シタイト存ジマス、唯其ノ内容ト致シマシテ、五條第一項關係ノ整備計畫ノ立案ガ、整備計畫ヲ何時付キマシテハ、尙ホ關係方面トモ協議點、或ハ八條關係ノ再評價ノ命令を以て定める云々ト云フヤウナ事項ニマデニ主務大臣ニ出スカト云フヤウナヲ致シタイト思ヒマス、未解決テゴザ〇中崎委員 只今ノ問題、未拂込ノ徵收ニ關スル重要ナ問題アリマスルノデ、未拂込ノ徵收ニ依ツテ、其ノ點ニ付キマシテハ、會社ノ資本ヲ整備スルト云フコトヲ法文ノ上ニ於テ明記スル必要ガアルノデハナイカト云フ意見ヲ持ツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、唯私ノ意見トシテ述ベタ譯デアリマス次ニ企業資産ノ評價ノ問題ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマス、過般商工省ガ企業整備計畫案ナルモノヲ發表シテアリマスルガ、補償打切りニ依ル企業整備計畫案、之ニ依ルト、企業ノ資産ハ時價ヲ以テ評價スルト云フコトヲ發表シテ參ツタノアリマスガ、今回此ノ補償打切法案全般ニ關スル部面ニ於テハ、此ノ問題ハ何等表現キニ現ハレ居ラナイ譯デアリマスガ、此ノ點ニ付テドウ云フ風ニナルノカト云フコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、私ノ考ヘテハ、總チ企業ヲ整備スルニハ、此ノ資産ノ評價ヲ餘り低ク見積ルト云フコトハ、之ニ對スル債權者ノ利益ヲ害スルト云フ重大ナ結果ニナリマスルシ、ソレカトアルト考ヘテ居リマス、此ノ資産ノ評價ヲ餘り低ク見積ルト云フコトハ、之ニ對スル債權者ノ利益ヲ害スルト云フ

云ツテ餘り又水膨レノ資産ヲ認メテヤニ於テ、大キナル支障ガアルコトガ考ヘラレル譯デアリマス、然ラバ此ノ評價ヲ如何ナル點ニ求メルカト云フコトニナルト、極メテ困難ナ難カシイ問題デハアリマスルガ、何レニシテ決定シナケレバナラヌ重要問題デアルノデアリマス、私ノ考ヘル所デハ、寧ロ、今後政府ニ於テ決定サレルト豫定サレテ居ル或ル安定物價ト云フモノニ其準ヲ置イテ、ソレニ依ツテ資產ノ再評價ヲナサルベキモノダト考ヘテ居リマスルガ、唯口デ安定水準ニ基ク物價ト申シマシテモ、サウ簡単ニ出來ル譯デハナイト思ヒマスルガ、膳國務大臣ノ言明ニ依リマシモ、大體米價ヲ基準ニシテ、ソレ等ノ物價水準ヲ決メルト云フ風ナ目標ヲ立テ居ラレルヤワデアリマスルノデ、此ノ物價水準ト云フモノガ如何ナル見透シノ下ニ何時頃、ドウ云フ形ニ於テ現ハレルノカラ此ノ資產ノ評價問題ト關聯シテ、大藏大臣カラ御説明願ヒタيد思ヒマス

ス、隨て其ノ結果ニ付テハ申上ゲ兼ニ
マスガ、見當ハ御詫ノ通り將來ノ產業ノ
再建ニ支障ガナイト云フコトヲ一番ノ
主眼ニシマシテ、其ノ上ニ於テ債權者
及ビ債務者双方ニ公平ナ評價ヲスル、
斯ワ云フ考ヘデアリマス、隨テソコニ
物價ノ問題ガ得出來ル譯デアリマス、
此ノ物價ノ問題モ昨日申シマシタヤウ
ニ、米價其ノ他ニ基準ヲ取ルトカ、是
ハ具體的ニハ色々ノヤリ方ガアルト思
ヒマスガ、見當ハ現在ノ物價水準ト云
フモノヲ一ツノ基準ニシ、尙ホ將來ノ
生產ノ豫想ト云フモノ等ヲ加ヘテ、一
ツノ理想的ノ物價水準ヲ作ルモノト考
ヘテ居リマス、甚ダ抽象的デアリマス
ガ、只今ノ所デハ左様ナ抽象的ナコト
以上ニ一寸御答ヘシ得ナイ段階デアリ
マス、御諒承ヲ願ヒマス

穴埋メヲサセルコトニ依ツテ、企業ダ
價デ見積ソテ何等差支ヘナイモノダト
思フノデアリマス、將來ニ於ケル所ノ
一ツノ物價安定基準ヲ妥當ニ認メラレ
ルナラバ、ソレニ依ルコトガ一番審デ
リマシテ、ソレ以上企業ノ利益ニナル
ヤウナ、言換ヘレバ企業ニ不當ニ含ミ
ヲ持タスヤウナ資産ノ評價ニ付テハ、
到底我々國民トシテハ之ヲ是認シ得ル
モノデハナイト云フコトヲ申上ゲタノ
デアリマスガ、其ノ點ニ付テ大藏大臣ノ
御答辯ヲモウ一度ハツキリ御伺ヒ致シ
マス

フ意味デハゴザイマセヌノデ、詰リテ
價ニ於キマシテモ若シ時價ト云フナラ
ガ果シテ日本ノ産業ノ再建ニ宣イカド
バ、一體其ノ時價ナルモノハ何處ニマ
ルカト云フト、隨分高クモ考ヘラレ
デアリマスガ、其處マデ評價スルヨ
シマシテハ根本的ニ理念ガ違ツテ居ル
ト云フコトヲ申上ゲマス、ト申シマ
ノハ、今回ノ補償打切ニ關スル取扱
ト云フモノハ、經濟ノ再建ヲ目的トシ
タモノデアルト云フコトデアリマス
ガ、私寧ロソレヨリモ戰時ニ於ケ
所ノ所謂水膨レニ對シテ政府ニ過大ニ
負擔ガアル、之ヲ如何ニシテ打切ルナ
ト云フコトガ第一ノ眼目デアツテ、甘
ノ線ニ沿ウテ初メテ本法案が出テ來ニ
モノ思フノデアリマス、言換ヘマリ
ト企業ヲ再建整備スル所ノ方法ハ、此
クノ如キ曖昧模糊ナ、又不公平ナ施密
テハナクシテ、適當ニ之ヲ處置スル所
ノ方法ガアリマス、例ヘバ金融ノ面ニ
於テ適當な方法ヲ講スルトカ、或ハ資
ニ重要ナ產業デアル、是ハ必ず再建シ
ナケレバナラヌト云フヤウナ産業ニ對
シマシテハ、別個ノ措置ヲ講ズルコ
ニ依ツテ是ガ出來ルノデアリマシテ、
謂ハバ戰時補償ヲ今マデ政府ガ責任ヲ
持ツテ實行スベキモノヲ、國家ノ財政上ニ
ノ都合ニ於テ是ガ實行出來ナカツタ、
ソレガ爲ニ生ズル所ノ企業ノ損害ヲ
何ニ處置スルカト云フコトガ此ノ法
目的デアリマシテ企業ノ再建整備
將來ノ企業ヲドウスルカト云フコ

○石橋國務大臣　是ハ御言葉ノ中ニモアリマシタヤウニ、意見ノ相違ニナリマスカラ論争ニナル懸念ガアルノデアリマスガ、今回ノ法案ハ如何ニモ直接目的ハ財政ノ負擔ヲ減少スル、謂ハバ財產稅ノ代ニ今度ノ戰時特別課稅ヲ致ス譯デアリマスガ、併シナガラソレモ是モ一番ノ根本ハ何處ニアルカト申セバ、ヤハリ日本ノ經濟ヲ建直スト云フコトニアル譯デ、財政ノ整理ト雖モヤハリ之ヲ離レテハ出來ナイノデアリマス、唯財政ノ整理ヲシサヘスレバ官政ノ方ニモ結局損害ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス、私ノ申上ゲル趣意ハ、サツキモ申シマシタヤウニ、全體ノ經濟界ハ別段大シタ問題ハナイ、其ノ間ニ唯偶然或ル會社、或ル銀行ガ損失ヲ來シテ之ヲ清算シナケレバナラヌト云フ場合ノヤリ方ト、今回ノヤリ方トハ、ヤハリ日ノ著ヶ所が多少違ハナカルベナラヌダラウ、隨て債權、債務者ノ利害關係カラダケ申セバ、甚ダ簡單ニ事ガ片付ク譯デゴザイマスガ、サウデナク、其ノ企業モヤハリ生カシテ行キ、日本全體ノ經濟ヲ生カシテ行クト云フ建前ガアル爲ニ、實ハ評價問題ケルトカ、不當ニ債務者ノ利益ヲ擁護アリマス、其ノ點ヲ御説承ノ願ヒタイアリ中崎委員　資產評價ノ問題ハ本法案

ヲ通ジテ一番肝腎ナ問題デアリ、是ガ
マスガ、此ノ肝腎ナ國民大衆ト云ヒマ
スカ、國民一般債權者、銀行預金者ハ
勿論、凡ユル是等ニ關係アル所ノ債權
者ニ非常ナ犠牲ト負擔トヲ強ユルコト
ニ依ツテ、初メテ本法ノ目的トシテ居ル
所ノ施策ガ行ハレル譯デゴザイマス、
斯クノ如キ重大ナル影響ヲ齎ス所ノ評
價ニ關スル問題ニ付キマシテ、之ヲ法律
ノ面ニ於テハツキリト規定サレル必要
ガアルノデハナイカ、只今ノ大藏大臣ノ
答辯ニ依リマスト、關係方面トノ諒解
ガマダ付イテ居ナイト申サレマスケレ
ドモ、此ノ問題ガ政府側ニ取上ガラレ
マシテカラ相當ノ期間ガ經過シテ居リ
マスシ、此ノ法案トシテ出來テ居ル今
日ニ於テ、大體ニ於ケル所ノ交渉ハ既
ニ済ンデ居ルモノダトハ考ヘテ居リ
マス、所謂哀龍ノ袖ニ隠レテ我々ガ今
日マデ軍閥財閥ニ酷目ニ遭ハサレタ
コトハ、未だニ我々ノ頭ニマザヽト
残シテ居ル所デアリマスガ、其ノ氣持
ヲ又關係方面關係方面ト云ツテ此ノ袖
ニ隠レラレルト云フコトデハ、我々國
民ハ非常ニ迷惑ヲスルノデアリマス、
殊ニ財產稅ニ關スル評價基準ハ、大體
ニ於テ此ノ財產稅法ニ取入レラテ居
ル譯デアリマスガ、一番重要ナ關係ヲ
持ツ所ノ企業整備、補償打切りニ關ス
ル聯ノ法案ニ付ケ、何等是ガ明記サレ
テ居ナイト云フコトハ、政府ニ何カ意
圖スル所ガアルノデハナイカ、言換ヘ
レバ評價ノ基準ヲ各企業ニ勝手ニ作ラ
スコトニ依ツテ、企業ノ溫存ヲ不當ニ
ヤラウストスルノデハナイカト云フ懸念
ヲ濃厚ニ持ツノデアリマシテ、此ノ點
ニ付キマシテ大藏大臣ノ御答辯ヲ要求

○右橋國務大臣 甚だ遺憾ノ御質問
受ケタ譯デゴザイマスガ、私ハ、又政
府ハ左様ニ或ル事柄ニ依ツテ所謂貧籠
ノ袖ニ隠レルト云フヤウナコトハ毛頭
ゴザイマセヌカラ、其ノ邊ハドウゾ御
諒承ヲ願ヒマス、實際ニ此ノ問題ハ非
常ニ難カシイノデアリマシテ、早クカラ
色々検討モシ、種々ナ案モ立て居ル
ノデアリマスガ、マダ具體的ナ結論ニ
到達シナイト云フノガ事實デゴザイマ
ス、ソレカラ財産税法案ノ中ニ入ツテ
居ル程度ノ評價ノ問題ハ無論解決サレ
テ居ルノデアリマシテ、ソレハ問題ハ
ナイノデアリマス、唯固定資本ヲドウ
評價スルカ、此ノ固定資本ノ問題デア
リマス、流動資産ノ直ゲ賣レルモノ、
或ハ企業デアツテモドウセ潰レルモ
ノ、潰シ段階デ賣ツテシマフト云フモ
ノハ、時價デ行クト云フコトデ何モ問
題ハアリマセヌ、併シ日本ノ經濟ノ爲
ニ今後ドウシテモ繼續シテヤラナケレ
バナラスト云フ企業ノ固定資本ヲドウ
評價スルカ、是ハ平生デモ非常ニ難カ
シイ問題デアリマスガ、ソコニ引掛リ
ガアリマスノデ、マダ決定シナイ、而
モソレガ重要ナ問題デアツテ、今尙ホ
決定シナイト云フノデアリマスカラ、
全體ヲ御披露申上ゲルコトガ出来ナ
イ、斯ウ云フ事情ニアルコトヲ御諒承
願ヒタイト思ヒマス、政府トシテハ決
シテ不當ナコトヲヤルト云フコトハ毛
頭ゴザイマセヌカラ、其ノ邊ハ御諒承
員會ノ評議ニ掛ケテ致スコトニナツテ
居リマシテ、政府ガ勝手ニ致ス譯デハ
ゴザイマセヌカラ、其ノ邊ハ御諒承ヲ

○中崎委員 評價基準ノ問題ニ付
シテ、財産稅程度ノコトハ分ツテ居ル
カラ問題ハナイト云フ御説デゴザイマ
スガ、其ノ範圍ニ於テモ、先づ此ノ企
業ニ即シテ一應此ノ際御説明ガ願ヒタ
イ、更ニ設備ノ問題ハ先程大藏大臣モ
言ハレマシタヤウニ、實際ニ複雜ノ困
難ナ問題デアリマスルガ、曾チ設備評
價ノ一つノ方法トシテ、複成式評價方
法ト云フモノガ採リ上ゲラレタコトガ
政府ニ於テアルト云フ實例モ知ツテ居
ニ依ツテ行クベキカドワカト云フユト
ハ、ヤハリ將來ノ物價ノ「レベル」ニモ
關係シテ參リマスノテ極メテ困難ナ問
題デアリマスガ、何レニシテモ沿ウテ
行クベキ線ハ、安定シタ所ノ物價水準
ニ目安ヲ置イテ行クト云フコトデ行カ
レナケレバ、妥當ナ解決ハ付カナイノ
デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス
ガ、先程ノ問題ト今ノ問題ト關係シテ
大藏大臣カラ御説明ヲ願ヒマス。
○石橋國務大臣 財產稅ノ評價ト申シ
マスノハ、土地建物ナドノ評價ニ付テ
ハ御説明申上ゲタ通リデアリマス、殘
ツテ居リマスノハ株式ノ價格、是ハ
企業整備ノ方ノ標準ガ決マラナイ譯デアリ
ト、株式ノ價格モ決マラナイ譯デアリマ
ス、企業整備ノ方ノ評價基準ヲ今作リ
マス、隨テ財產稅ニ於テモ重要ナ點ニ
於テ一ツ残ツテ居ル譯デアリマス、ア
トハ今マテ申上ゲタヤウナ譯デアリマ
ス、企業整備ノ方ノ評價基準ヲ今作リ
マス、アル譯デアリマス、大體ガ出來マ
シタラ委員會ノ議ニ掛ケテ御決定ヲ願
ツテ、ソレニ依ツテヤツテ行キタイ、
斯様ナ譯デアリマス

證券、株式ガ主デゴザイマスガ、此ノ種
株式ニ付キマシテハ、取引價格ニ一確
ノ某準ヲ置ケト云フ風ニ書イテアリマ
ス、其ノ外色々參酌ナレル事情モアル
ヤウデアリマスガ、企業ノ場合ニ於テ
モ、企業自體ノ株式ノ取引ト云フヤウ
ナモノモ、一應上場取引サレルモノモ
アルシ、或ハ又此ノ取引價格ト云フノ
ノガ、取引所ニ於ケル上場株ノ價格デ
アルノカ、或ハ又唯單ニ個人ノ間ニ取
引サレル價格デアルノカ、ドウモ是ハ
明瞭ニ法規ノ上ニ書イテアリマセヌケ
レドモ、何レニシテモ一ソノ取引價格
ヲ基準ニシテヤルト云フコトハ茲ニハ
ツキリト書イテアリマス、ソレカラ次
ニ動産トカ其ノ他ノモノニ付キマシテシ
ハ、時價ニ依ルト云フ風ニ書イテアル
ノデアリマシテ、唯其ノ中ニ公定價格
ノアルモノハ、公定價格ヲ標準トシテ
行クノデアリマスガ、大體ニ於テ時價
主義ニ依ツテ行クト云フコトニナツテ
居リマスガ、一面財產稅ニ於テ時價主
義ヲ採ル、又此ノ同ジ理由ガ企業ノ經
理ノ問題ニモ考ヘラレルノデハナイモ
カ、唯先程申シマシタヤウニ、企業ニ
付テハ、殊ニ產業ノ前途性ト云フヤウ
ナ問題ニ付テモ一概考ヘラレマスノ
デ、必ズニモ時價ガ適當デアルト云フ
コトハ、先程申シマシタヤウニ
アルモノハソレニ依ルトカ云フヤウ
ナ、一ソノ事業ニ付テモ、企業ニ付テ
モ、一應ノ日安ヲ御説明願ヒタイト想
料、製品ニ付テハ公定價格ノアルモノ
フ譯デアリマス、統制價格ノアルモノ
ハ、一應統制價格ニ依ルノカ、統制價格
ノナイモノニ付テハ是ハ時價ニ依ル
カ、或ハ又ドウ云フヤウナ方法ニ依ツ

○石橋國務大臣 先程申上ゲマシタヤ
ニ、動産、諸リ原継トカ資材トカ云
フヤウナ種類ノモノハ、無論公定價
格、或ハ其ノ外ノ時價ト申シテ宜シイ
デアリマセウケレドモ、サウ云モノニ
ニ依ルコトハ略ニ決マツテ居リマス、
繰返シテ申上ゲマスガ、實ハ償却ガア
ツタリナカツタリ色々複雜ナ關係ヲ持
具體的ナ標準ヲドウ決メルカト云フコ
トデ今研究シテ居ル譯デアリマス
○中崎委員 設備ノ評價ノ問題ニ關シ
マシテ、財界方面ノ一部デハ帳簿價格
ニ倍数ヲ掛ケタモノヲ以テ基準トスル
ト云フ風ニ言ツテ居ル筋モアル譯デア
リマスルガ、是ハ極メテ不適當ナ方法
デアル、一番簡單ニ容易ニ其ノ計算ノ
方法ハ出マスルケレドモ、企業ノ内容
ニ依リマシテハ、年々ヨリ以上ナ償却
ヲシテ居ル所モアリマス、償却ノ非常
ニ不十分ナ所モアリマス、或ハ又内面
價却ト申シマスルカ、利益ヲ以テ何等
帳簿ニ計上シナイ所ノ設備ヲ實際ニヤ
ツテ居ル所モアル譯デアリマス、又此
ノ設備ノ能率ト云フヤウナ點モ、唯帳
簿價格ト云フモノノミデハ到底評價出
來ヌト云フ風ナ關係モアリマシテ、帳
簿價格ヲ基準トスルト云フ點ニ付テ
ハ、如何ナル面カラ見テモ是ハ贊成出
來ナイ、唯企業ヲ不當ニ温存スル立場
カラノミ是ガ是認サレル譯デアリマス
ガ、大藏大臣モ此ノ點ニ付テハ全然サ
ウ云フ考ヘハナイト云フコトヲ言ツテ

ニハ全然根據ヲ置クベキモノデナイト云アモノ
云フ風ナ考ヘニ付テ、ドウ云フ風ニ考
ヘテ居ラレルカヲ御説明願ヒタイ
○石橋國務大臣 無論唯帳簿價格ニ依
ツテ最後ノ評價ヲスルト云フコトハ不
當ト思ヒマス

ソレカラ財界ノ方面ナドデハ色々々ノ
意見モアリマシテ、今御話ノヤウニ、
年數ニ依ツテ或ル倍數ヲ掛ケルト云フ
ヤウナコトモ言ウテ居リマス、是等モ
参考ニスベキツノ意見ト思ヒマス
ガ、ソレニ依ルト云フコトハ致シテ居
リマセヌ、唯併シ基準デアリマスカ
ラ、此ノ評價ハ各管理人ガ具體的ニ其
ノ企業ニ付テヤリマシテ、サウンテン
ヲ認可スル譯デアリマス、ソコデ其
ノ具體的ニ評價ヲスル場合ニ、是ガ適當
少ノ標準ガナケレバ、非常ニ高ク評價
スル所モアリ、低クシテモイケマセヌ
シ、又認可ヲスル場合ニ、是ガ適當
アルカドウカト云フコトモ、何カノ基
準ガアリマセヌト認可不認可ヲ決メル
時ニ差支ガ起リマスカラ、可ナリ「ラ
フ」ナモノデアツテモ宜イカラ、「ツ
ノ基準ヲ作リタイ、斯ウ云フ譯デ、經
濟界デ發表サレテ居ル年數ニ依ル云々
ト云フモノモ、ソンナ觀點カラ「ツ
「ラフ」ナ其準トシテ提案サレテ居ルモ
ノト思ヒマス、デアリマスカラ、繰返
シテ申上ゲマスガ、其準ハ大陸ノ一ツ
ノ尺度デアリマシテ、ソレヲ基準トシ
テソコニ本當ニ評價スル、斯ウ云フコ
トニナツテ居ル譯デアリマスカラ、其
ノ點ハ御含ミ置キヨ顧ヒタイト思ヒ
マス

○中崎委員 先程申シマダタヤウニ、
此ノ基準ガ一番重要ナ問題デアリマス

○中崎委員 私ノ質問ハ大藏大臣ニ御
レマセスガ、此ノ基準ガグラ／＼シテ標
準ニナラヌヤウナモノデハ何ニモナリ
マセヌノデ、此ノ點ニ付テ私ノ望ム所
ハ、寧ロ本法ニハツキリト之ヲ明カニ
シテ貰ヒタイト思フ譯デアリマス、ガ
今申シマシタヤラニ、評價ガ復雜す爲
ニ間ニ合ハナカツタト云フヤウナ點ニ
付キマシテハ、是ハ一應事情ヲ諒トス
ルモノデアリマスガ、今言ウタヤウ
ニ、唯簡單ダカラ、尺ハドウ云云、尺デ
モ宜ノダ、實際ニ於テハ其ノ共準ニ
依ツチ好キナヤウニ計ルノダ、斯ウ云
フ考ヘヲ持ツテ居ラレタノデハ國民ト
シテハ堪ラナイト云フコトヲ重ネテ申
上、ゲル次第アリマス、ソレカラ……
○本多委員長 中崎君ニ御諸リ致シマ
スガ、大藏大臣ガ實ハ豫算委員會ノ方
ニ、最後ノ質問ノ殘ツテ居ルノト仕上
ゲル爲ニ是非出席シナケレバナラスト
云フノデスガ、マダ大藏大臣ニ對スル
御質問ハアリマスカ
○中崎委員 マダ澤山アリマス
○本多委員長 澤山アルヤウデシタ
ラ、向フデハサウ時間ハ掛ラナイヤウ
デスカラ、大藏大臣ニ一ツ向フニ出席
シテ戴ク外ハナカラシト思ヒマス、其
ノ後デ又繼續シテ貰ツタラドウカト思
ヒマス

○本多委員長 休憩前ニ引續キマシテ
會議ヲ開キマス、中崎君ノ質問中休憩
致シタノデアリマスガ、太藏大臣ノ見
エラレルマデト云フ豫定デ、最前中絶
致シマシタ福田政府委員ノ金光委員ニ
對スル御答辯ヲ此ノ際御願ヒ致シマス
○福田政府委員 引續キマシテ命令事
項ヲ御説明致シマス、先程ハ第八條マ
テ申上ゲタノデアリマスルガ、第十二
條第二項ニ於キマシテ「前項の整理債
務とは、舊勘定に屬する債務のうち、
主務大臣の指定する債務以外のものを
いふ。」トアルノデアリマシテ、此ノ
「主務大臣の指定する債務」ト云フノ
ガ、先般申上ゲテ居リマスル所ノ指定債
務ト相成ルノデアリマス、指定債務ト
云フノハ、只今ドウ云フコトヲ考ヘテ
居ルカト云フト、先般一寸申上ゲタ公
租公課、是ハ此ノ銀行ノ納メル公租公
課ト、財產稅等トシテ納付ニ相成リマス
ル所ノ公租公課ト云フモノガアルノデ
アリマス、昨日ノ答辯ニ於キマシテ
財產稅ノ公租公課ハ一體ドウナルカ、
指定債務トナルノカ、整理債務トナル
ノカト云フ御話デアルノニ對シマシ
テ、マダ次マツテ居ラヌト云フ風ニ御
答辯申上ダタノデアリマスガ、政府ノ
大體ノ意向ハ、整理債務ノ方ニスルト
云フ意向デアリマス、即チ優先的ナ取

ト云フ風ニ考ヘテ居リマス
次ニ第十三條「金融機關は、第八條第一項の評價が行はれる前においても、第一號の金額が第二號の金額を超過し、且つ、その超過額の整理債務の金額に對する割合が主務大臣の指定する割合を超えるときは、命令の定めるところにより、書面を以て云々此の主務大臣の指定する割合」ト云フノハ、只今ノ所ニ割ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、「命令の定めるところにより」トアリマスガ、是ハ後デ資産ノ欠缺ニ對シシテ負債ノ切捨ヲ致スノデアリマスガ、其ノ切捨ノ順序ヲ逆ニ行ツテ居リ譯デアリマス、次ニ參リマシテ、第一號、第二號、一、二ト書イタ所ガアリマスガ、「主務大臣の指定する舊勘定云フコトヲ此ノ命令デ決メウト云フ譯デアリマス、次ニ參リマシテ、第一號、第二號、一、二ト書イタ所ガアリマスガ、「主務大臣の指定する舊勘定ノ資産」トアリマス、是ハ不良資産又ハ不確定資産——例ヘバ裁判ニナツテ其ノ債権ガ取レルカドウカ分ラスト云フヤウナ不確定ナ資産テアリマス、之ヲ主務大臣ト致マシテ指定スルコトヲ考ヘテ居リマス、次ノ項目ニ參リマシテ、「前項の規定による主務大臣の認可があつたときは、その指定する時において」トアリマスガ、是ハ認可ノ時ノ條件トシテ、適宜何時マダト云フ時期ヲ決メル譯デアリマス、最後ノ項目ニ考ヘテ居リマシテ、「金融機關は、第一項の規定による主務大臣の認可があつたと

云トアリマスガ、是ハ單ニ手續ヲ規定スル譯デアリマス
第十四條ノ二行目ニ、「主務大臣の指定する割合」トアリマスガ、是ハ八割ト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス
大臣の指定する割合を乗じた金額」トアリマスガ、是ハ八割ト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス
ソレカラ第十五條ノ「主務大臣の指定する割合を超えるときは」ト云フノハ
ハ、十三條ノ場合ト同様二割デアリマス、第二項ニ移リマシテ「前項の場合においては、舊金融機關は、命令の定めるところにより、新金融機關に移し、整理債務の金額に相當する金額の債務を新金融機關に對して負擔する。」トアリマシテ、此ノ場合「命令の定めるところにより、」ト云フノハ、此ノ新金融機關ニ對シテ債務ヲ負擔スル場合ノ條件ヲ定メルノデアリマス、其ノ條件ノ中一番重要なハ利息デアリマシテ、是ハ一錢二厘ト云フ風ニ決メル豫定デアリマス
次ニ第十六條ハ金融機關ノ舊勘定ニ屬シマス資産ヲ新勘定ニ移シ變ヘル場合ノ規定デアリマスガ、此ノ冒頭ニアリマス所ノ、「命令の定めるところにより、」ト申シマスノハ、新銀行ト致シマス業務繼續上必要ノナイ財産ハ除外スルト云フゴトヲ規定セントスルモノデアリマス、ソレカラ第二項ノ「前項の規定により、確定評價基準に依り評價した資產で命令で定めるものを舊勘定から新勘定に移す場合においては、

第二十三条ノ「第二十一條に規定する月の月末において、左の各號の一に該當する場合においては、金融機關は、命令の定めるところにより、トアル「命令」ハ是レ亦様式ヲ定メントスルモノデアリマス。

二十四條第四號ノ「新勘定又は新金融機關に移した分を含み、命令で定める分を除く。」トアルノハ、他ノ法令デ第二封鎖預金カラ支拂ツテモ宜シイト云フ風ニ認メタモノヲ此ノ「命令」デ指定スル譯デアリマス。

第十號ノ「前號によるもなほ確定損の殘額があるときは、その殘額に對し、指定債務（命令で定めるものを除く。）トアル此ノ「命令」ハ、新銀行又ハ新勘定ニ對スル債務ヲ除外シテ居ル譯デアリマス、此ノ債務ダケハ飛バズ譯ニハ行カヌト云フコトニ相成ル譯デアリマス、尙ホ續イチ「至全額まで、指定債務の債權者において、命令で定める順序により、確定損を負擔するものとする。」トアル此ノ「命令で定める順序」ト云フノハ、指定債務ノ中ニ於キマシテモ色々順序ヲ定メルノデアリマシテ、是ハ政府デ所有シテ居ル所ノ第二封鎖、例ヘバ税金ト云フヤウナモノヲ特ニ指定債務ノ中ニ於キモ優先サセヨウト云フ考ヘナノデアリマス。

第二十五條第三號ニ「前條第一項第三號乃至第八號の場合においては、資本に未拂込金があるときは、命令の定めるところにより拂込をなさしめた後、トアリマシテ、此ノ點ハ勅令ニ於キマシテハ少クトモ主ガ負擔スベキ額マデハ拂込ト云フ原則ヲ定メントスルモノノデアリマス、即チ此ノ拂込徵收ノ問題ハ、企業ト金融機關トハ違フノデアリマス、企業ニ於キマ

シテハ未拂込ヲ取ルカドウカト云フ問題ハ整備計畫ニ於テ決定スルト云フコトニナツテ居リマスガ、金融機關ニ於キマシテハ初メカラ未拂込ヲ徵收スルト云フ建前ヲ採ルノデアリマス、左様ナ違ヒガ此ノ勅令ニ於テ出テ來ル譯デアリマス

同ジク第二十五條ノ末項ノ「第一項第三號の規定による拂込の場合に關しては、他の法令又は定款にかかはらず、勅令を特別の定をなすことができる。」トアルノハ、未拂込ヲ取ル場合ニ於キマシテ只今申上ゲマシタ通り金融機關ハ未拂込ヲ取ルト云フ原則ヲ採ルト云フ關係ガアルノデアリマスガ、其ノ取り方ニ付キマシテ、例へバ商法ノ原則通り二年先マデ遡及スルトカ、或ハ失權手續ト云フヤウナコトヲ認メルトカ、サウ云フヤウナ事項ヲ此ノ規定ニ於テ決定セントスルモノデアリマスガ、只今具體的ナ内容ニ付キマシテハ中上ゲル段階ニ立至クテ居リマセヌ。

第二十六條第二項ノ「前項の場合においては、金融機關は、同項の措置を

なした後、主務大臣の指定する日までに、」ト云フノハ、認可ノアツタ後半年位ト云フ風ニ考ヘテ居リマス。

同條第三項ノ「金融機關は、前項の讓渡又は移轉について對價を取得した場合においては(第三十三條第一項の規定による政府の補償があつたときは、命令納付し、なほ残額があるときは、命令の定めるところにより、これを處分しなければならない。)トアル此ノ「命令の定めるところにより、」ト云フノハ、

例へば喫簡代ガ後デ入ツテ來タト云フヤウナ場合ニハ、命令ノ定メル所ニ依

ツテ之ヲ處分スル、此ノ命令ハ債務ノ

切捨ヲ受ケタ所ノ債權者ニ遡及シテ問

次返シテヤルト云フコトヲ此ノ規定ニ

於テ定メントスルモノデアリマス

同條第六項ノ「前項に定めるものを除く外、第四項の規定による解散の場合に關し必要な事項は、他の法令にか

かはらず、命令でこれを定める。」ト云

ト云フ趣旨ヲアリマスガ、是レ亦現在

ノ所決マツテ居リマセヌ。

同條第七項ノ「命令の定めるところにより、先づ、舊勘定の資産をその債

務の辨済に充てなければならない。」ト

アル此ノ「命令の定めるところによ

り、」ト云フノハ、場合ニ依リマシタナ

ラバ、舊勘定ニ於キマシテハ財産ノ換

價處分ガ出來ルト云フコトヲ規定致

シ、ソレカラ代物ヲ以テ辨済ヲスル場

合ニ於キマシテ確定評價其準ガアル場

合ニハ、其ノ評價基準ヲ下ツテハナラ

ナイト云フコトヲ定メントスルモノデ

アリマス。

第二十七條ノ「金融機關の取締役又

はこれに準ずる者(以下理事機關とい

ふ)は、第二十四條第一項に規定する

場合においては、命令の定めるところ

により、云々トアルノハ手續規定デア

リマス。

第二十八條ノ「金融機關の取締役又

はこれに準ずる者(以下理事機關とい

ふ)は、第二十四條第一項に規定する

場合においては、命令の定めるところ

により、云々トアルノハ手續規定デア

リマス。

第二十九條ノ二行目ノ命令ハ様式ヲ

規定セントスルモノデアリマス、第二

項ノ「主務大臣の指定する日までに、」

ト云フノハ、此ノ整備計畫ノ認可ガア

ト此ノ命令ア規定セントスルモノデア

リマス。

第三十九條ノ二行目ノ命令ハ様式ヲ

規定セントスルモノデアリマス、第二

項ノ「主務大臣の指定する日までに、」

ト云フノハ、此ノ整備計畫ノ認可ガア

ト此ノ命令ア規定セントスルモノデア

リマス。

第四十條「金融機關は、指定時にお

ける新勘定の資産及び負債のうち命令

で定めるもの」はハ大部分ノ資産及ビ

ハ、之ヲ合併シテ作ル必要ガアルノデ

アリマス、其ノ合併等ヲ致ス場合ヲ此

ノ命令ニ於テ規定セントスルモノデア

リマス。

第四十六條第一項ノ最後二「その事

業年度に續く事業年度は、命令で定め

る日で終了するものとする。」此ノ命令

ハ此ノ賃分ノ消滅シタ次ノ年ノ三月末

ト云フコトヲ只今ノ所ハ考ヘテ居ル譯

デアリマス。

第四十八條ノ末項ニ「監査委員の職

務及び権限は、第二十七條第二項及び

前二項に規定するものを除く外、命令

でこれを定める。」此ノ命令ニ於キマシテハ

監査委員ニ承認等ヲ要スベキ事項ヲ規

定セントスルモノデアリマシテ、大體

第三十七條ハ最終處理ヲ致シマシテ、其ノ後ニ於キマシテ評價増ガ出タナラバ、之ヲ如何ガ處理スルカト云フコトヲ規定シタルモノデアリマス、四十二條ノ一番末ニ「前

中最も重要ナノハ利率デアリマス、一

金一厘ト云フコトヲ只今ノ所ハ豫定シテ居リマス、四十二條ノ一番末ニ「前

三項に定めるものを除く外、第四十條

定シタモノデアリマス、又此ノ

トアル、此ノ命令ニ於キマシテハ、特

別經理會社ノ株式トカ、或ハ特別經理

會社ニ對スル貸付金、在外資產等ヲ規

定セントスルモノデアリマス、又此ノ

トアル、此ノ命令ニ於キマシテハ、特

別經理會社ノ株式トカ、或ハ特別經理

會社ニ對スル貸付金、在外資產等ヲ規

定シタモノニ於キマシテハ、特

別經理會社ノ株式トカ、或ハ特別經理

會社ニ對スル貸付金、在外資產等ヲ規

定シタモノニ

云フ考へヲ持ツテ居リマス、後ニ若干手續規定ノ命令事項ガアリマスガ、以テヨリ以チシテ大體重要なル命令事項ヲ御説明致シタノデアリマス
ソレデ只今日取りヨリ大體申上ゲタノデアリマスガ、暫定評價ノ日取りガ一月一日デアルト云フコトヲ申上ゲ、又暫定評價ニ依ル所ノ計算ガ二月十五日ニナルト云フコトモ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ場合ニ依リシタナラバ相當繰上ニナルカモ知レマセス、サウ云フコトヲ御含ミ置キ願ヒマス
○金光委員 只今ノ御説明ニ對スル質疑ヲ御許シ戴ケマスカ、極ク簡単ナコトデゴザイマス
○本多委員長 簡單デアリマスナラバドウゾ……
○金光委員 昨日ノ私ノ質問ニ對シマシテ只今書面並ニ口頭ヲ以テ御答辯戴イタノデアリマスガ、其ノ中ニ第三十條、二十八頁ノ二行目ニ「但し、その補償の金額は、勅令で定める金額を限度とする。斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスト、第一封鎖預金デアツテモ、必ズシモ全額受取レナイ場合ガアルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ場合ガ生ジマセバカ
○福田政府委員 只今申上ゲマシタ通り、此ノ勅令デハ新勘定ニ屬シマスル所ノ第一封鎖預金ヲ現在ニ於キマシテ一萬五千圓乃至三萬二千圓デ計算シテアル、其ノ第一封鎖預金ヲ一口一萬五千圓ト云フ風ニ銀行毎ニ計算シテ見マス、サウシテ其ノ差額ガ出マシテ、若シ新シク計算シテ見タ所ノ一萬五千圓アル、其ノ第一封鎖預金ヲ一口一萬五千圓ガ只今設定シテアル第一封鎖預金ヨリハ少イト云フ場合ニ於テハ、其ノ少

イ額ヲ補償金額ヨリ差引ク、斯ウ云フ
デアリマセヌガ、實際問題ト致シマシ
テ、第一封鎖預金トナツテ居ル額ヲ一
口毎ニ計算スル、一口一萬五千圓度計
算スルト言ハバ現在設定シテアリマス
第一封鎖預金ヨリハ遙カニ上廻ルト云フ
事例ハナカラウカト思ヒマス
○金光委員 尚ホ更ニ御伺ヒ致シタイ
點ガ或ハアルカトモ存ジマスノデ、此
ノ部分ニ關スル質問ヲ留保サセテ戴キ
タイト存ジマス
○本多委員長 宜シウゴザイマス
○中崎委員 時間ガ制限サレテ居リマ
スノデ、簡單ニ質問シタイト思ヒマス
ス、引續キマシテ大藏大臣ニ御尋ネ致
シマス
「インフレ」問題ニ關シマシテ極ク簡
單ニ御尋ネシタイト思ヒマス、今年暮
アタリノ「インフレ」ノ状態ト言ヒマ
スカ、物價ノ状態ハドウ云フ風ニナル
カト云フ見透シヨ一寸御尋ネ致シマス
○石橋國務大臣 將來ノ實際ノコトハ
サウ中々豫見出來ルモノノデハアリマセ
ヌガ、只今ノ私見見透シデハ、今後物
價ハ、殊ニ食糧關係ニ於キマシテ、今
政府ガ豫定シテ居ルガ如キ配給等が行
ハレルト致シマスレバ、少クモ安定シ
テ行クト、斯様ニ考へテ居リマス
○中崎委員 食糧問題ニ付テハ大體ア
藏大臣ノ見透シノヤウデゴザイマスル
ガ、其ノ他ノ一般ノ見透シニ付テ御尋
ネ致シマス
○石橋國務大臣 只今申シマシタノ
ハ、食糧問題ガ左様ニ安定スルト致シ
バ、他ノ物價モ、無論モノニ依リマシ
テ、第一封鎖預金トナツテ居ル額ヲ一
口毎ニ計算スル、一口一萬五千圓度計
算スルト言ハバ現在設定シテアリマス
第一封鎖預金ヨリハ遙カニ上廻ルト云フ
事例ハナカラウカト思ヒマス
○金光委員 尚ホ更ニ御伺ヒ致シタイ
點ガ或ハアルカトモ存ジマスノデ、此
ノ部分ニ關スル質問ヲ留保サセテ戴キ
タイト存ジマス

○中崎委員 今後紙幣が尙ほ増發サレルト云フ見込ニモナツテ居リマスルシ、暮ノ「ボーナス」或ハ賠償撤去、本法ニ依リ整備ニ依リマシテ、一時退職手當ト云フヤウナモノ相當出サレルヤウニ考ヘラレマスルガ、此ノ整備ニ依ル所ノ人々ノ一時的所得ガ物ヲ換ヘラレルト云フヤウナコト、殊ニ暮ニナリマスルト、例年ノ例デアリマスルガ、一般ニ物ヲ買ヒタガルト云フヤウナ傾向モアリマス、金ノ動キモ隨テ多クナルト云フ見透シザアリマスルガ、此ノ通貨ノ流通ノ速度ノ早イト云フコトヲ囁トト、暮ノ特殊ノ現象ト云フコトヲ囁ミ合セテ見タ時ニ、現在ノ狀態ヨリモ相当「インフレ」ノ面ニ於テハ不安ナルアルノデハナイカト考ヘラレマスルガ、斯ウ云フ點ニ付テドワ云フ策ヲ以テ之ヲ喰止メル用意ガアルカト云フコトニ付テ、御尋ネ致シマス

○石橋國務大臣 通貨ノ流通速度ハ只今非常ニ鈍イノデアリベス、六百億圓ヲ越エル、數量ハ非常ニ出テ居リマスガ、流通速度ハ非常ニ鈍クナツテ居リマスノデ、物價ハ比較的安定ヲシテ居ル譯デアリマス、即チ通貨ハ大部分退藏サレテ居ル是ハ決シテ農山漁村ト云フヤウナモノダケヂヤアリマセス、各家庭ニ必ズシモ退藏ト云フ程ノ氣持甚ダ多イノデアリマス、左様ナ譯デ、デナク置カレテ居ル通貨ト云フモノハ流通速度ハ必常ニ減ツテ居リマス、季節的變化、即チ暮ニハ元來物ヲ買フ、随テ多少ナリ物質ガ上ルト云フ傾向ヲ普通ノ場合ニハ持ツノデアリマス、本

年ニ於テ無論季節的變動ハアルモノ
ト考ヘテ居リマス
ソレカラ退職資金其ノ他ハ成程或
程度出マス、私ハソレニ依ソテ、ソレ
ヲ濫費スルト云フヤウナコトガ果シテ
起ルカドウカト云フト、是ハ起ラナイ
ト思ヒマス、一方ニ於テ企業ノ整備ガ
行ハレル、世間デ喧シク言ハレテ居ル
ヤウニ、失業者ガ殖エル、斯ウ云フ狀
況ガ漸次深刻化スル譯デアリマスカ
ラ、私ハ退職資金ガ出タ、ソレガ直チ
ニ購買力ニ廻ツテ來ルト云フヤウナ縣
念ハ甚ダ少イ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○中崎委員此ノ問題ニ付キマシテ
ハ、餘り追究シナイコトニシマシテ、
次ニ新聞ニ對スルコトデス、國際貿易
ガ將來復活サレル、其ノ場合ニ於テ居
本ノ物價ト云フモノガ相當ノ高イモノ
ニナル、是ガ爲ニ考ヘナケレバナラヌ
ノハ、圓價ノ引上ト云フヤウナ問題ガ
一ツ考ヘラレマス、更ニ新聞ヲ次ニ又
額面ノ少イ、例ハバ十圓ナラ十圓ノモ
ノヲ、一圓ナラ一圓ノ紙幣ト引換ヘラ
レルト云フヤウナ、二ツノ方法ガアリ
ハシナイカト思ヒマス、或ハ圓價ノ下
下ト申シマスト、金一匁五圓デアツカ
モノガ今日ハ公定七十何圓ト云フヤウ
ナコトニナリマスガ、更ニ之ヲ現在ノ
實際ノ物價ノ水準ニ合セテ見テ、或マ
百五十圓ナラ百五十圓ト云フヤウナ罪
位ニ引上ゲルト云フ形ニ於テナサレル
コトモ考ヘラレマス、是ハ「デフレ」ノ
ヤウナ形ヲ取リマスガ、新圓ヲ更ニソ
レヨリモ額面ノ低イ新聞ト引換ヘルコ
トニ依ツテ、國際的物價水準ハ「マップ
チ」サセテ行ク方法ガ考ヘラレマス
ガ、是等ノ點ニ付テハ大藏大臣ハドウ
云フ風ニ考ヘラレテ居リマスカ、御轄

○石橋國務大臣 ソレ等ノ問題ニ付
ハ、今モ他ノ委員會デ、ヤハリ社會黨
ノ諸君カテ御質問ヲ受ケテ御答ヘシタ
ノデアリマスガ、將來——サウ遠クナ
イ將來デアルコトヲ希望スル譯ニアリ
マスガ、國際經濟ニ日本ガ自由ナ形デ
參加スルト云フコトニナリマスト、其
ノ時ニハ當然爲替相場ヲ定メバナリ
マセヌ、其ノ時期ニ於テ是ハドウシテ
定マルカト言ヘバ、理論的ニ申シマス
レバ、所謂購買力平價、其ノ時ノ日本
ノ物價ノ「レベル」ト、其ノ時ノ「アメ
リカ」ナリ何ナリノ、海外ニ於ケル標
準的ナ物價ノ「レベル」ト云フモノト
ノ比較ニ依ツテ、「ドル」ト圓トノ交換
率人決マツテ來ル譯ニアリマス、是ハ
理論的デアリマスカラ、實際ニ數字ハ
ソレデヤドウ云フモノヲ使フカト申セ
バ、昨日モ申上ダタヤウニ、物價指數
ト云フモノガ、ソンナニ完全無缺ナ物
價指數ハドヨニモアリマセヌカラ、實
際ハ相當腰ダメヲ以テヤラナケレバナ
ラヌガ、マア理論的ニハ左様ナ所ニ定
マル、隨テ今日ノ日本ノ操作トシテ
ハ、ソレマデニ日本ノ物價ヲ安定スル
ト云フコトデアリマス、同時ニ「アメ
リカ」等ノ物價ガ又非常ニ變動シテ居
ツタラ爲替相場ガ決マラナイ譯ニアリ
マス、尚フハ安定スルモノト想像シ、
日本ハ今マダ多少不安定ナ狀況ニアリ
マスカラ、之ヲ安定スル、斯ウ云フコ
トデ行ケバ自ラ爲替相場ハ定マリマ
ス、ソレデ宜シノデアリマシテ、其
ノ時ニ今御話ノヤウニ、日本ノ國內ノ
物價ヲ引下グテ爲替相場ヲ定メル方
法、ソレカラ日本ノ國內ノ物價ハ其ノ
儘ニシテ置イテ、比較的低イ所デ爲替
相場ヲ定メル方法ト、大體ニツアリマ
ス、モソトアリマスケレドモ、日本ノ

物價ヲ更ニ高クシテ云フコトハ、是
ハ事實上今考ヘラレマセヌカラ、日本
ノ其ノ時ノ安定シテ居ル物價ヲ其ノ儘
ニシテ爲替相場ヲ定メル、モウツハ
日本ノ物價ヲ引下ゲテ定メル、此ノ引
下ゲテ定メル方ハ「デフレーション」政
策デ、是ハ私ハ採ラナイ方ガ宜シトイ
考ヘテ居リマスシ、恐ラク何人モソレ
ハヤリマスマイト思ヒマス、隨テ其ノ
時ノ安定シタ物價デ爲替相場ヲ定メ
ル、ソレガ幾ラニナルカト云フコト
ハ、其ノ時ノ日本ノ物價ノ「レベル」
ト、向フノ物價ノ「レベル」^{デ定マルコ}
トデアリマスカラ、豫メハ申上ゲ兼ネ
ル譯デアリマス、之ヲ幾ラト定メナク
テモ一向差支ヘナイ譯デアリマス、ソ
レヲ「ドル」^{何圓デナケレバナラヌト}
云フコトハナイ譯デアリマス、左様ニ
考へマス

ナ負擔ヲスル上ニ於テモ、是ハ當然考
ヘナケレバナラヌ大キナ問題ダト思ヒマ
スガ、之ニ對シテ一番適切ナ方法ハ、第
一次ニ執ラレタヤウニ、金融緊急措置
令ト云フヤウナ方法ニ依ツテ、モウ一
度此ノ新圓ヲ銀行へ預入レラサスト云
風ナ手ヲ執ルコトガ、一番良ク分ツ
テ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ者
ヘマス、今マテ政府ニ於テハ、新圓ハ
再凍結シナインダト云フコトヲ言ハレ
テ居リマスガ、租稅的見地カラ、國家
ノ財政的見地カラ斯ウ云フヤウナコト
ヲ考ヘラレルカドウカト云フコトニ付
テ御同ヒ致シマス

ルコトニナルカラ、紙幣二付テ特別ノ處置ハ断ジテ致シマセヌ、其ノ爲ニ生般本會議デ總理大臣カラモ其ノ聲明ヲシテ貰ツタ譯デアリマシテ、是ハ單ニ政府ノ思ヒ付キダケデハナイ、是ハドシテモサツセザルヲ得ナイト云フシタノデアリマスガ、今成程紙幣ノ交換乎タル政策デアリマス、ソレヲ回収せシマスノハ左様ナ強權ヲ以テ致スベハナイ、是ハ先程他ノ委員會デモシタノデアリマスガ、半年モ經テバ又元ヘ戻ル、デモシテ強制的ニ預金デモサセテ封鎖シケレドモ、半年モ經テバ又元ヘ戻ル、デモ致セバ、此ノ二月ニ起ツタヤウニ通貨百五十億圓位ニ減ラスコトハ出來マス、是ハヤハリ預金ヲシテモ安心サウスル光程申シマシタヤウニ通貨ノ信用サヘモナクナルト云フ譯デアリマス、是ハヤハリ預金ヲシテモ安心ダ、又樂ニ預金ガ出來ルト云フ狀況ヨシテ居ルコトモ實ハ中々皆サン難儀アリマス、決シテ樂デハナイ譯デアリマスカラ、適當ナ金融機關方安心シテ預カルト云フコトニナリマスレバ、私ハ必ず回収サレルモノト信ジテ居ルアリマス、其ノ他特ニ又ソレ等ヲ收スル爲ニハ、昨日モ申上ダカト田ヒマスガ、種々ナル預貯金ヲ勸誘スル方法ハ强力ニ近ク開始致シタイト存ジテ居ル次第アリマス

○石橋國務大臣 勿論新圓ノ預金ニ對シテ特別ノ課稅ヲスルナドト云フコトハ致シマセヌ、此ノコトハ今マデ相換政府トシテハ口デハ申シテ居リマスガ、アルト思ヒマスルガ、此ノ點ニ對シテハ大藏大臣ノ御考へハ如何デゴザイスカ

○中崎委員 私ノ申シマス意味ハ、今大
藏大臣カラ御答辯頗ツタヨリモ少シ廣
イ意味ニ考ヘテ居リマス、ト申シマス
ノハ、新圓ヲ預金ニシタ其ノ狀態ヲ單
ニ課税スルトカ封鎖スルト云フ非常措
置ヲ執ルト云フ意味デナシニ、言換ヘ
レバ此ノ人ハ銀行へ今度十萬圓ノ預金
ヲ持ツテ來タ、此ノ人ハ今度ハ所得稅
トカ其ノ他ノ場合ニ於テ、是ダケノ所
得ガ本年度ニ於テアツタノダ、斯ウ云
フコトガハツキ里斯ル爲ニ銀行ニ預ケ
ナイト云フコトが起ルノデヤナイカ、
ソレニ課税スルカシナイカト云フコト
ヲ御尋ネ致スノデアリマス
○石橋國務大臣 大藏省ト致シマシテ
ハ、何時モ申上ゲルヤウニ、其ノ人ニ
所得ガアレバ課稅スル、ソレガ闇テ取
引サレタモノカドウカト云フコトハ問
題ニ致シマセヌ、所得ガアレバ課稅ヲ
スルト云フ建前デアリマスカラ、若シ
其ノ預金ガ所得デアルトスルナラバ課
稅シナイト云フコトハ申上ゲラレマセ
ヌ、併シナガラ預金ノ祕密性ト云フモ
ノハツノ問題デアリマシテ、現在ソ
レハ考ヘテ居リマス、詰リ政府ノ方カ
テ申スナラバ、預金ヲ調ペルノガ一番
簡単デアリマスカラ、稅務カラ申セバ
預金ノ祕密性ハ保テナイ、併シナガラ
金融經濟ノ上カラ言フト、何ト言フテ
モ遺憾ナガラマダ人間ガヤハリ祕密性
ヲ必要トスルモノデアリマスカラ、預
金ノ祕密性ト云フモノガ必要デス、此
處ニ矛盾ガゴザイマス、其ノ矛盾ドト
ウシテ解クカト云フコトハ、小サイヤ
ウデ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、
只今十分考ヘテ居リマス、預金ヲシタ
カラ其ノ爲ニ稅ヲ取ラレルト云フヤウ
ナ觀念ヲ抱カナイヤウナ方法ヲ講ジタ
イト考ヘテ居リマス

○中崎委員 今回ノ政府ノ執ラレマシ
タ財産税法ニ付キマシテモ、同じヤウ
ナコトガ言ヘル譯デアリマス、各個人
ノ財産ヲ根コソギ申告サセテ、總浚ヒ
ヲヤラレタト云フヤウナ結果ガ、斯ワ
云フ風ニ一ツハ政府ノ政策ニ信頼出来
ヌバカリデナク、通貨其ノモノガ退藏
マデ我々ノ知ツテ居ツタ範囲ニ於テハ
サレルト云フヤウナ、謂ハバ變態的ナ
狀態ニナツタ云フノハ事實ダト思ヒ
マス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、今回
マデ我々ノ知ツテ此ノ祕密ガ何等隱
相當ニ銀行ニ對スル預金ナリ資金ト云
フモノハ祕密ヲ保タレタト云フヤウ
ナ狀態ニアツタノデアリマスガ、今回
ノ非常措置ニ依ツテ此ノ祕密ガ何等隱
ス所ナクスクカリ明ルミヘ出タト云フ
コトガ通貨ノ上ニ於ケル所ノ大キヤニ變
態的ナ狀態ヲ齎ラシタモノト考ヘマス
ノデ、此ノ點ニ付テ只今大藏大臣カラ
ノ説明ニ依リマシテ、一面ニ於チ租稅
的ナ見地カラ、一面又金融經濟ヲ順調
ニ一ツノ途ヘ持ツテ行クト云フヤウナ
見地カラト結合シテ、最モ適當ナ方法
ヲ考ヘテ貰フヤウニ希望スル譯デアリ
マス

次ニ今ノヤウナ方法ガ一ツノ最モ適
當ナ新圓吸收ノ方法ダト思ヒマスル
ガ、更ニ新圓ヲ金融機關闢ニ還ス方法ト
シテハ、官有財產ノ拂下ト云フヤウナ
コトガ一ツ考ヘラレマス、社會黨ハ企
業ノ國有化ト云フ風ナコトヲ考ヘテ居
リマスルガ、サウ云フ風ナ意味ニ於ケ
ル官有財產ノ拂下デアリマセヌ、
戰爭中ニ於テ軍ニ關係シテ、現在政府
ノ手ニアル所ノモノヲ適正ナ價格ヲ
以テ拂下ヲスル、現在政府財產拂下ハ
競争入札ノ方法ニ依ツテヤツテ居ルコ
ガ、斯ウ云フ類ノモノヲ適正ナ價格ヲ
產ヲ主トシテ意味スル譯デアリマス

トニナツテ居リマスルガ、實際ニ於キ
マシテハ、色々民間ノ人々モ妥協ト
前以テ値段ヲ申合セラシテ、官吏ノ者
ガ其ノ間ニ挾マツテ旨クヤルト云フ實
例モアリマスルシ、更ニ又値段ヲ指定
シテ不當ニ安クシテ拂下ガサレルト云
實例ガ多々アル譯デアリマスガ、今後
ニ於テハ、最低ノ値段ヲ先ツ付ケテ置
カレマシテ、其ノ上ニ競争入札ニ依ツ
テ拂下ゲラレル、殊ニ其ノ價格が現在ニ
ノ經濟狀態ニ即シタ所ノ價格ニ於テ之
ヲ拂下ゲラレルト云フ必要ガアルノテ
ハナイカト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付
テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス
○石橋國務大臣 官業ヲ除キマシタ官
有財産ハ、數字ノ上デハ相當アリマシ
テ、是ノ處分ヲ早クシタラ宜イヂヤマ
シカト云フコトハ、我々モ民間ニ居ル
時カラ隨分論ジテ居タモノニアリマス
ガ、實際調べテ見マスト、右カラ左ニ
賣レルヤウナ財産モサウ多クハナイヤ
ウデアリマスガ、兎ニ角はハ今度財產
稅デモ又物納ニ依ツテ相當ノモノガ入
リマセウカラ、此ノ處置ハ今マテト
ツテモソト「ビジネスライク」ニヤレル
ヤウニ、又御話ノヤウニ今マテ不當ナ
價格デヤツタ云フ例ガ事實ドレダケ
アルカ知リマセヌガ、國庫ノ收入モ零
エ、出來レバ公益ト云フヤウナ方面ノ
コトモ考ヘマシテ、適當ナ處理ヲスル
ヤウナ手段ヲ新タニ講ジタイト思ツ
目下其ノ考案ヲ致シテ居ル次第デアリ
マス

カ、殊ニ以前ニ「スタンプ」手形ト云フ
モノガ市場ニ出テ來タ例モアル譯デア
リマスガ、此ノ「スタンプ」手形ニ限ラ
ズ、總テ一般的ニ小切手、手形ノ流通
ヲ盛ニスル所ノ方策ヲ執ツテ戴キタイ
ト思ヒマス、此ノ問題ニ關係シマシテ
更ニ封鎖預金ノ解除ノ問題ヲ考ヘナケ
レバナラヌ譯デアリマスガ、是ハヤハ
リ一面封鎖預金ノ制度ガアル以上ハ、
小切手ノ流通ノ上ニ於テモ、手形ノ流
通ノ上ニ於テモ、色々支障ガアルモノ
ト思フ譯デアリマスガ、預金ノ封鎖ヲ
何時ドウ云フ風ナ方法ニ於テ解除サレ
ルカ、又小切手、手形ノ制度ヲ盛ニス
ル爲ニハ、ドウ云フ風ナ施策ヲ考ヘテ
居ラレルカヲ御尋ネ致シタイトと思ヒ
マス

○本多委員長　只今鈴木君カラ御話ノ通リニ、中崎君ノ質問ハ大體申合セノ時間ヨリ少シ超過シテ參リマシタノデ、殘餘ノ質問ガアリマシタナラバ、極メテ簡単ニ御願ヒ致シマス
○中崎委員　御趣旨ニ從ヒマシテ大體其ノ線ニ沿ツテ簡単ニ殘餘ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、本法案ト關聯致シマシテ、興銀ノ如キ、預金ノ極メテ少クテ、債券ノ如キモノヲ發行スルコトニ依ツテ戰爭ニ付テ努力ヲ拂ツテ居タト云フ風ナモノノ痛手ハ大キイモノダト考ヘテ居リマス、此ノ興銀ノ善後處置ニ付テハ、ドワ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、更ニ此ノ興銀ヲ、第二興銀ト云フヤウナモノヲ作ラレルト云フコトモ聞イテ居リマスガ、モウ少し別ノ意味ニ於テ、例へバ中小商工金融ニ關聯シタ所ノ、商工中金ノヤウナモノヲト云フヤウナモノモ一ツノ系統ニ持ツテ來テ、一元化シタ所ノ金融機關ニ變更シテ行カレル御考ヘハナイカ、今マデハ大體ニ於テ重工業其ノ他ノ大工業ト云フヤウナモノモノ觀念セダ大部分ト云フヤウナモノモ一ツノ系統ニ持ツタノデスガ、現在ノ狀態ニ於テハ此ノ大工業ト云フヤウナモノノ觀念セダ大部分ト云フヤウナモノモノ觀念セダ大部分アル、其ノ預金タルヤ三千萬圓程度ノ貢弱ナ狀態ニアル譯アリマスガ、斯クノ如キ機關ヲヨリ以上ニ活用スルコトニ依ツテ、日本ノ中小工業ノ再建ヲ

○石橋國務大臣 日本興業銀行ノ整理ニ付キマシテハ、日下色々検討研究致シテ居リマス、整理ハ可能ト考ヘテ居リマス、之ヲ第二興銀ニスルカドウ云フ風ニスルカト云フコトハ未だ決定シテ居リマセヌガ、併シ興銀ト云ノモノハ興銀デ、ツノ今マデノ「スタッフ」或ハ經驗ト云、フモノハヤハリ活カシテ行カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、如何ナル形ニ致シマシテモ、興銀ガ長年積ミマシタアノ經驗ハ活カシテ行ギタト考ヘテ居リマス、ソレニ、御話ノヤウニ色々ノ別ノモノヲ入レルカ入レナイカト云フコトハ、近ク成立致シマス金融制度調査會テ御檢討ヲ願ヒ、其ノ上デ決メタイ、是ハ金融機關ノ整理ト云フモノハ中々難カシイモノデアリマスカラ、十分検討致シマシテカラ善處シタイト考ヘマス

○中崎委員 マダ澤山アリマスケレドモ、大藏大臣ニ對スル質問ハ此ノ程度ニシテ置キマシテ、次ニ商工大臣ニ伺ヒマス、賠償工場ガ何レ決マルコトト思ヒマスガ、其ノ範圍ガ凡ソドノ程度ノモノデアルカ、ソレカラ其ノ損害ト云モノハ國家ニ於テ補償サレルノカ、ノカト云フ風ナ問題ヲ御尋ネ致シマス

○星島國務大臣 先般新聞モ發表サレタ如ク、一應ノ線ハ引カレタノデアリマスガ、併シアレハ最後ノ確定デハ

以テ見マスト、火力發電所ノ如キ、九
州、中國方面ニアノヤウナ表デヤラレ
テハ大變ナコトニナルノデアリマシテ、
今商工省ニ於キマシテハ、是レノ
ノ線ハ非常ニ困ルカラ是非々々は
止メテ貲ヒタイ、我々ハ此ノ設備ガド
ウシテモ必要ト云フナラバ、是ハ變ヘ
テ貯ヒタイト云フ譯デ非常ニ調査研
究ヲ致シマシテ、目下關係當局ニ懇請
中デアリマシテ、相當日本ノ將來平和
産業トシテ最少限度ナクチャナラナイ
モノハ懇請致シマシテ善處ヲ願ヒタイ、
若干先般ノ引カレタ線ヨリモ撤去ガ解
除サレル向キモアルカト考ヘテ居リマ
ス、目下關係筋ニ懇請中デアリマス
ガ、今は々ノ線デ、最後ハ是ダケノ損
害ガ出ルト云フコトノ大體ノ調査ハ出
來テ居リマスケレドモ、色々業界ノコ
トモアリマシテ、今茲ニ明瞭ニ發表申
上ゲルコトハ或ハドウカト恩フノデア
リマス、鬼ニ角一箇所アモ少イコトハ
望ム所ナンデアリマスカラ、併シ先ヅ
先般ノ線ガ引カレタノデ凡ソ皆ンナノ
覺悟ガ付イタ譯デアリマス、若シアレ
ヲ全部ヤラレルトスレバ、是ダケノ損
失ガアルト云フコトハ、モウ既ニ新聞
ニモ若干其ノ數字ガ出テ居ル譯デアリ
マス、出來ルダケ一ツ少アリタイ、
テシマヘバ、例ノ請求權ノ五萬圓、一
萬圓デモ宜イ譯デアリマスガ、併シ圓
滑ニ撤去事務ヲ完了スル爲ニハ現在
業界ノ其ノ人人ノ協力ヲ仰ガナケレバ
ナラナイ、先ツ戰爭が濟シデノ話デア
リマスカラ、是モ一般ノ他ノ補償打切

リト同ジヤウニ見ルノハ餘リニ残酷デアラウト思ヒマスカラ、何トカ商工省ノ側カラ言ヒマスト相當補償シテ貰ヒタイト實ハ念願ヲシテ居ルノデスガ、中々大藏當局ハ高クナサウヤツテ吳レルト云フ工合ニ參ツテ居リマセヌ、併シナガラ是ハ少クトモ帳簿價格位ハ出シテ貰ハナケレバ困ルト言ツテ居ル譯デアリマス、在外ノ資產ヲドウスルカト云フコトニナルト、又シテ大キナ問題ガ起ツテ來ルノデ、迎モ大キナコトハ望ミマセヌケレドモ、撤去ノ事務撤去ノ費用、ソレハ勿論國家ガ出シテ貰ハナケレバナラナイ、撤去サレタモノニ對シテハ何「パーセント」カ鬼ニ約若干ノモノハ是非出シテ貰ヒタイ、ソレハモウ安イ利子デモ、公債デモ宜イカラ鬼ニ角出シテ貰ヒタイト云フコトヲ只管相談シテ居ル譯デアリマス、何トカ少シハ減ルダラウト思ヒマス、今ハマダ明瞭ニ申上ゲル時期デハナイト思ツテ居リマス

○ 謝國務大臣 今度色々委員會が出来
マスケレードモ、此ノ權威ニ付テハ、其
委員會ノ取扱モノニ依ツテ色々
レモ變へテ行カナクテハナラヌト左
マス、御間ヒニナリミシタ委員會ハ、
ノ各種ノ委員會ノ中ノ中堅トモ申シ
スカ中権ヲ成ス大事ナ所デアリマ
テ、之ニ付テハ只今政府委員カラ御
ヘシマシタ通り、各方面ト今打合セ
デアリマシテ、殘念ナガラマダノドノ割
ノ數デドウ云フ方面ノ人ヲドノ割
デト云フコトヲ御答へ申上ゲルマデ
至ツテ居リマゼヌ、ドウゾ其ノ邊ハ
諒承願ヒタイト存ジマス
○ 中崎委員 デハ私ノ質問ハ是デ打
リニ致シマス

○ 本多委員長 木下榮君

○ 木下委員 端的ニ御伺ヒシマスガ
政府ハ戰時補償法案ニ依ツテ其ノ負
ハナクナルノデアリマスガ、他ノ
ニ於テ戰時金融金庫ノ事業會社ニ對
ル債權ハドウ云フ風ニ扱ハレルカ、
チ戰時中普通ノ金融機關ガ融通スル
都合ガ悪イ場合ニ戰時金融金庫ニ依
テ融通セラレタ債權ハドウ云フ風ニ
扱ヒニナルカ、一般ノ債權者ト同ジ
ウニ之ヲ其ノ儲存續シテ取立テルル
ルト、其ノ事業會社ノ不利益ハ勿論
アリマスガ、他ノ債權者ニモ影響ス
コトト思ヒマス、其ノ邊ノ取扱方ヲ
伺ヒシタイト思ヒマス

○ 福田政府委員 戰時金融金庫ハ只
清算中デアリマシテ、別個ノ整理ヲ
スルノデアリマスガ 大體ノ建前ヲ
シマシテハ、一般ノ金融機關同様ル
ヒラ致スコトニナル譯アリマス、

リマスガ、只今ノ大體ノ内外ノ情勢、
其ノ他ヲ考ヘマシテ、在外資産ニ付テ
ノ補償ト云フコトハ、甚ダ困難デアラ
ウト云フコトガ見透サレマスノデ、其
ノ見透シニ基ヤマシテ、確實ヲ期シマ
スル爲ニ一應茲ニハ「ゼロ」ニ立テテ戴
クト云フコトニナツテ居ル譯デアリマ
ス、御願承願ヒマス

○木下委員 賠償ノ打切りニ依リマシ
テ、普通ノ銀行ト云フモノガ非常ニ弱
體ニナリマシテ、融通力ガ減少シマ
ス、ソレニ從ヒマシテ復興金融金庫方
非常ナ機能ヲ發揮スルコトニナリマス
ガ、復興金融金庫ノ貸出ハ、何カ其ノ
内規ト云フヤウナモノアリマスカ、
或ハ條件ト云フヤウナモノガアリマス
カ、現在取扱ツテ居ル所ヲ聞キマス
ト、相談會ニ掛ケルトカ何トカ非常ニ
煩雜ナヤウニ聞イテ居リマスガ、之ヲ
モウ少シ簡單ニシテ、ソシテ金融金庫
ヲモソット完全ニヤツテ行クヤウナ工合
ニサレル御意思ハアリマセヌカ

○福田政府委員 復興金融金庫ガ出來
マス場合マデノ過渡的ナ手段ト致シマ
シテ、只今銀行ニ特別勘定ヲ設ケ
マシテ、ソニデヤツテ居ル其ノ御詰ダ
ト思ヒマスガ、此ノ復興金融ヲ致ス場
合ハ産業復興ニ必要ナル資金デアリマ
リマス、此ノ制約ト申シマスカ、左様
ナ標準ニ從ヒマスコトハ中々難カシイ
銀行カラノ供給ト云フコトガナクナル
問題デアリマシテ、此ノ調整ガ旨ク行カ
難キ場合ト云フ風ナ制約ガアルノデア
ナイト、總ニ復興金融金庫ニ來テ、普通
云フコトガ非常ニ難カシイノデアリマ
ス、只今其ノ舵ヲ取ル機關トシテ日本

銀行ヲ中へ立テ居リマス、日本銀行ニ商工省
ガ中ニ立チマシテ、日本銀行ニ商工省
大藏省等ガ集マリマシテ、是ハ一體道
通銀行カラ融資セシムベキモノデアルカ
カ、復興金融行クベキモノデアルカ
ト云フコトヲ判断スルノデアリマス
ガ、若シ多少軌道ガ出来マシテ、サウジ
アラビアは初メカラ復興金融金庫デ宜トイ
云フコトガ分ルモノハソチラノ方ヘド
ンドン行クト云フヤウナ態勢ニナレ
バ、此ノヤ、ヨシイ行キ方ト云フモノ
ハ非常ニ簡素化シテ参リタイト思ツテ
居リマスガ、先づ罰則一條デ左様ナ判
定ガ中々手間取ルコトハ、只今ノ段階
トシテハ已ムヲ得ナイデハナイカト存
ジテ居リマス

○木下委員 賦國務大臣ニ御伺ヒシタ
イノデスガ、産業復興ノ一番困難ナル
問題ハ労力ノ過剰ト云フ問題デアリマ
スガ、此ノ問題ニ付テハ昨日他ノ委員
カラ質問サレテ、賦國務大臣ハ詳細ニ
瓦ツテ御話ガアツタカラ私モ能ク承知
シテ居リマスガ、其ノ御話ニ依ルト、
カ労資ガ經營協議會ナドテ決メテ、若シ
ノ問題ヲ考ヘルノデアリマスガ、私ハ
紛擾ガ起レバ労動調整法デヤル、又過
剰労力ハ代理會社カ何カニ努メテ振當
テル、其ノ後テ失業對策或ハ退職資金
ノ問題ヲ考ヘルノデアリマスガ、私ハ
トシテ任せ行クナラバ、是ハ「ゼネ
スト」トカ色々々問題ガ起ツテ、産業
労働調整法デ労働委員會ナドテ解決ハ出
來ナシ、若シ政府ガ其ノ儘ソレニ愕然
モ、現在我々ノ目ノ前ニ展開シテ居ル
鐵ノ例ニ見テモ、海員組合ノ例ニ見テ
唯混亂ヲ來スノミダ、斯ウ私ハ思フノ
所ノ讀賣新聞ノ例ニ見テモ、必ず勞働
者ノ問題ハ此ノ儘ソレツテ置イタナラバ
ノ復興ハ到底東ナシ、是ハ近クハ國
來ナシ、若シ政府ガ其ノ儘ソレニ愕然
モ、現在我々ノ目ノ前ニ展開シテ居ル

デアリマス、此ノ戰時補償打切り、斯
ニ云フ問題ハ理論的カラ言フト固ヨリ
不合理デアラウシ、不公平デアル、併
シナガラ是ハ國家ノ爲ニ已ムヲ得ヌカ
ラ非常手段トシテ斷行サレルト思ヒマ
ス、サウ云フ場合ニ勞力ノ問題ニ付テモ
或ル特殊ノ準則ヲ立アルトカ、方法ヲ
政府ガ指示スルトカ云フヤウナコトヲ
ヤツテ行クノガ普通ダント思ヒマスガ、
其ノ邊ニ對シテ膳國務大臣ハドンナ考
ヘヲ持ツテ居ラレルカ、昨日ノ御答申ト
ノヤウナ勞資兩方ノ協議會デヤツテ行
クトカ、委員會ガ何トカスルトカ、調
整法デヤルトカ、ソンナコトデハ絶對
ニ出來ナイト私ハ信ズルノデアリマ
ス、ソレニ對シテ強力ナ指示トカ、一
ツノ準則トカ云フ風ナモノノ設ケラレ
ル意思ハナイカ、ソレヲ御伺ヒシタイ
○膳國務大臣 只今御問ヒノ問題ハ私
モ、企業ノ再建ガ果シテ所期ノ目的の確
リ行ヒ得ルヤ否ヤト云フコトニ非常ニ
重點ガアルト思ヒマス、は御説ノヤ
ウニ單ニ企業會社ニ任シテ置クト云フ
コトデ解決出來ナイコトハ勿論デアリ
マス、之ニ付キマシテハ色々政府ニ於
テモ考ヘテ居ル點ガ多々アルノデアリ
マス、ソレ等ノ點ニ付テハ重ネテ申上
ゲル機會モ得タイト存ジテ居リマス
ガ、政府ニ於キマシテ適當ナ指導ヲ執
ル必要ノアルコトヲ感、又其ノ方面
ノ構想ヲ練ツテ居ル譯デアリマス
○木下委員 大體ニ於テ私ノ質問ハ濟
ミマシタガ、今一ツ質問ハ少シ筋道ガ
違フカモ知レマセヌガ、企業再建上事
業界ニ影響スルモノニアリマスカラ御
尋不スルノデアリマス、最近「マッカ
サー」司令部ノ所謂追放令ニ財界ノ人
達ガ該當スルト云フ騒ガアルノデア
リマス、特ニ財閥ノ關係ノ會社ノ重

○ 謙國務大臣 政治、經濟ノ方面カラ
思ハシカラザル者ヲ追放スルト云フヤ
ウナコトニ付テノ問題ハ、尙ホ政府ニ
於キマシテモ色々考究中ノ問題モアリマ
スルケレドモ、マダ考究中ノ問題ニ付
シテ居リマセヌ、殘念ナガラ此ノ際御
付キマシテ御詫ヲ申上ゲル時機ニ到達
答辯ガ申兼ネマス、ドウゾ御諒承願ヒ
タイト思ヒマス

○ 木下委員 私ノ質問ハ是打切りマ
ス

○ 本多委員長 久保猛夫君

○ 久保委員 私ハ主トシテ財産税法案
ニ付キマシテ、法案ガ富ノ再分配ニ依
ル經濟民主ノ目的徹底ト云フ立場ニ立
チマシテ、之ヲ實施致シマシタ後ノ經
濟方針ニ付テ、主トシテ大藏大臣ニ御
尋ネシタイト思フノデアリマス、歴史
的ニ見マシテモ、富ノ再分配ト云フ立
トハ我國ニ於キマシテ度々アツタ
思フノデアリマス、明治維新ノ時ノア
ノ大小名ノ領土返還ト云フコトヲ實施
致シマシタ時ニ、歐米人ハ之ヲ國家社
會主義ノ實行ダトシテ驚イタ向キモナ
ソタト聞イテ居ルノデアリマス、遠ク
ハ足利時代或ハ鎌倉時代ニ或ル期間ヲ
限ツチ賣買、貸借、質入等ノ權利義務
ヲ一切拠棄シタト云フ所謂德政ノ如キ
モノレデアルト思フノデアリマス、近
ク例ヲ徳川時代ニ取リマシテモ、例ヘ
バ御用金令ノ如キモノヲ出シテ武士階

級ガ其ノ階級維持ニ努メ、或ハ貧富ノ調節ヲ圖ルナド、土地問題ニシマシテモ永代賣買禁令ヲ出シテ、或ハ分地制限令トカサウ云フモノヲ出シテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ土地問題ニ付キマシテハ、今日ノ農村ニ於ケル貧富ノ懸隔ヲ調整シテ居リマス農地法ノ精神ニ通ズルモノガアルト思フノデアリマス

ソコデ先ツ御尋ネ致シタイコトハ、斯ウシタ歴史的ナ事實ニ考ヘテ見マシテ、此ノ財產法案ヲ實施致シマシテ、一應政府ハ富ノ再分配ト云フ線ニ沿ツテ目的ヲ達シタスル、其ノ將來ニ於テドウ云フ經濟方針ヲ立テヤツテ行カウトスルノデアルカ、或ハモウ少シ詳シク申シマスト、此ノ後ニ自由主義經濟ニ依リマシテ、新タニ新興資產者ノ發生スルコトヲ放任シヨウト云フノデアルカ、或ハ又社會主義經濟ノ精神ニ依リマシテソレヲ取入レマシテ、富メル者ヲ抑ヘ貧シイ者ヲ引上げテ行クト云フ方策ニ依ツテ進マウトサレルノデアルカ、若シサウダ尔斯ナルバ、ドウ云フ方法ニ依ルノカ、少シ具體的ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 將來ノ問題、相當複雜デアリマスガ、是ハ現在ノ考ヘ方トシマシテハ、課稅ト云フコトガ、今日モ所得稅等デ行ツテ居リマスヤウニ、所謂政府ガ超過累進稅ト云フコトデ行は、主トシテ地代ノ問題デアリマスガ、日本ニ於テハ現在農業關係

ノ地代ノ問題ハ全ク忘レラテ居リマスガ、更ニ是ハ將來取上グベキ問題デアラウト思ヒマス、社會主義ト申シマスカ、大體課税ノ方式ニ依ツテ主トシテ所得ノ平均化ヲスル、或ハ不勞所得ヲ抑制スル、斯様ナ方式デ行キマスレバ、先づ今回ノ財產稅ヲ取ツタ後ノ社會ノ公正ナル富ノ分配云フコトガ大體所期出來ルモノト考ヘテ居リマス

○久保委員 ソレダケデハ餘り能ク據メスト思フノデアリマスガ、是ハ一應其ノ儘トシテ置キマシテ、然ラバ相續稅ノ如キモノハ今ノ御話ノ課稅率ヲ非常ニ高クスルト云フヤウニナルト思ヒマスガ、サウデスカ

○石橋國務大臣 是ハ日本ニハ特ニ家族制度ガアリマシテ、外國ノ習慣ト違ヒ、純然タル個人主義デアリマセヌカラニ、日本ニハ特ニ相續稅ニ付テ外國ニナイ考慮ガ拂ハレテ居ルカト思ヒマスガ、大體ニ於テ相續稅ガ高マルベキデアリマス、又現ニ相當高イノデアリマス、御話ノ通り相續稅ト云フモノハ、ノ資產ニハ高率ノ相續稅ガ課カツテ行ク、斯ワ云フ建前デ居ルモノト考ヘテ居リマス

○久保委員 此ノ二十三條ノ課稅價格ヲ等級ニ分ケテアルノガアリマスガ、此ノ稅率ヲ見マスルト、千五百萬圓ヲ超エル金額ヲ百分ノ九十トシテ、ソレ以上ヲ規定シテナインデアリマスガ、私ハ此ノ二千萬圓ヲ超エル金額ニ該當スルモノガドレ位アルカ能ク存ジマセスガ、今資料ヲ求メテ居ル所デアリマス

スガ、更ニ二千萬圓、三千萬圓、或四千萬圓、五千萬圓ト云フモノガアツタトシマスト、百分ノ九十ト云フノデ、是レ以上税率ヲ高クシナイト云フコトハ、果シテ本來ノ精神ニ副フカドウカ疑問ニ思ツテ居ルノデアリマシテ、例ヘバモット九十五「パーセント」位マデノ税率ヲ課スル必要ガアルノデナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テドウシテ千五百萬圓デ打取ラレテ、ソレ以上ハ全部百分ノ九十ト云フ一率ニサレタカ、ツツ御意見ヲ承りタイト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員 財産税率ノ問題
バ、前ノ内閣ノ原案デハ七〇%以上、之ヲ八〇ニスルカ、九〇ニスルカ、或ハ御話ノ九五ニスルカ、斯ウ云フ問題ガゴザイマシテ、最高税率ハヤハリ九〇ニ押ヘタガ適當デアラウ、斯ウ考ヘタ次第デザイマス

○久保委員 二千萬圓ヲ超エルト云フノガドレ位アリマスカ

○池田(勇)政府委員 二千萬圓ヲ超エル階級ハ只今調査致シテ居リマセヌガ、千五百萬圓ヲ超エル納稅義務者ハ大體百人程度ヲ見込ンデ居リマス

○久保委員 若シ數ガ少クアツテモ、例ヘバ三千萬圓ヲ超スト云フヤウナモノニ對シテハ、九〇%ヲ超ス所ノ税率ヲ課スト云フコトガ本來ノ趣旨ニ合フノデハナイカト私ハ思フノデスガ、モウ一應當局ノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○奥田(勇)政府委員 千五百萬圓超過ノ方ハ先程申上ゲマシタヤウニ、極ク少い人數ニナツテ居リマス、五百萬圓カラ千五百萬圓、斯ウ云フ階級ニ致シマスト、此ノ次ハドウシテモ三千萬圓カ五千萬圓ト云フ階級ニ相成ルト思ヒ

マス、然ル場合二三千萬圓ヲ超エル方
ガ何人居ルカ、斯ワ云フ問題ニナリマ
スト、百人中極小部分ダト考ヘマス、
二、三十人ノ方ニ特ニ高イ九五ト云フ
税率ヲ盛ルコトハ、税率トシテ如何ナ
モノカト考ヘマスノデ、大體千五百萬
圓超過ハ先程申上ゲタ程度ノ人員デゴ
ザイマスカラ、最高税率ヲ九〇ト盛ツ
テ行クノガ適當ト考ヘタ次第ゴザイ
マス

ハ、大體此ノ法案ヲ、之ニ準ジテ行フ
ヤウニ規定ガナツテ居ルノデアリマス、
例ヘバ税率ノ如キモノモ全ク同様ナモ
ノデアルカ、何カ特別ナ皇室財産ニ對
スル課稅ノ考慮ヲ拂ハレテ居ル點ガア
ルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタインデアリ
マス

○池田(男)政府委員 皇室財産ニ對シ
マシテハ、別ニ考慮ヲ拂ツテ居リマセ
ヌ、此ノ法律ニ準ジマシテ、皇室令デ
其ノ適用方定メラレルコトニ相成ツテ
居リマス

○久保委員 是ハ農林大臣ニ御尋ネシ
タイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、
必ずシモ農林大臣デナクテモ人藏大臣
御答辯出來得ル部分ニ付テ御尋ネ
シタイト思フノデアリマス、尙ホ私
ハ文部大臣ニ一言御尋ネシタイコト
ガアルノデアリマスガ、若シ明日
コチラニオイデニナルコトガアツタ
ラ、其ノ機會ニ一ツ質問ヲ保留サセ
テ戴キタイト思ヒマス、私ハ例ヲ
農村ニ取ツテ御尋ネシテ見タイト思
フノデアリマスガ、財產稅ニ依ツテ
一應全國民ノ貧富ノ差ガ非常ニ減少ス
ル、是ハ農村ノ場合ニ於キマシテハ、家族制
度ニ改革ガ當然或ル程度行ハレルコト
ニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマ
ス、即チ我が日本ノ戶主中心ノ家族制
度ト云フモノガ、或ル程度——根本的
ニト言ツテモ宜イカモ知レマセヌガ、個
人中心ノ家族云トフ風ニ變ツテ、斯ウシ
タ總デノモノガ、國民ノ上デハ、例ヘバ
私ノ上デハ全部ソニ影響ヲ受ケルノデア
リマス、ソニデ今國民ハ、今後是等ノ色々
ナ法案ニ依ツテ社會事情ナリ經濟事情

ナリト云フモノガ、將來ドウ云フ状態ニ置カレルノデアルカト云フコトノ見透シニ付テ、非常ナ不安ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、農村ノ場合ヲ例ハ是等ノ法案ヲ綜合的ニ考ヘラマシテ、農村ノ經濟事情ナリ或ハ社會事情、サウ云フモノヲドウ云フ風ニ持ツテ行カウトシテ居ラレルカ、其ノ見透シニ付テドンナンニ考ヘテ、ドウ云フ社會像ヲ描イテ、斯ウ云フモノヲ決定シテ居ラレルノデアルカ、例ヘバ是ハ好イ例ニハナラナイト思フノデアリマスガ、手取り早ク言ヘバ農村ヲ徳川時代ノ農村ニ還サウト思ツテ居ラレルノデアルカ、或ハ又明治初期ノ農村ノ姿ニ似タ所ノモノトシヨウトシテ居ラレルノデアルカ、サウ云フコトニ付テ具體的ニ出来ルダケ國民ニ分ル程度ニ承リタイト思フノデアリマス

○本多委員長 河原田巖君
○河原田委員 大分細力ナ點ニマデ付キマシテ、質問應答サレマタシノデ、大體了承致シタノデアリマスガ、二、三ノ點ニ付テダケ御伺ヒ致シマスガ、一度ノ財產稅徵收ノ目的ニ付テ、ドウモ色々答辯ノ時期ニ依リマシテ、變ツチ居ルヤウニ聽イテ居ルノデアリマスガ、財產稅徵收ノ目的ヲ簡單ニ御聽キシタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 財產稅徵收ノ目的ハ、前内閣時代色々言ハレテ居ルヤウデアリマス、併シ現在現内閣ガ計畫致シマシテ、御審義ヲ願ツテ居リマスノハ、先般財產稅法案ノ説明ノ時ニモ申上ゲマシタヤウニ、一ツハ本年度ノ財政ノ財源ヲ得ルコト、是ハ普通ノ國民ノ經常所得ニ課稅シタダケデハ、本年度ノ財政が遺憾ナガラ賄ヘナイカラ、其ノ代リトシテ、理想的デハナイケレドモ、財產稅ニ此ノ財源ヲ求メル、斯ウ云フコトデアリマス、モウ一つハ戰時補償特別稅ト合セマシテ、是ガ一ツノ稅ノ形ヲ成シマシテ、サウシテ此ノ戰後ノ財政ノ再建ヲ圖ル、斯ウ云フ意味ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○河原田委員 只今ノ答辯ニ依リマスト、二ツノ目的ノヤウニ思ハレマス、本年度ノ豫算が不足ヲ生ジタカラ、之ヲ補フ爲ニ財產稅ヲ取ル、モウ一つノ目的ト二ツアリマスガ、此ノ目的ニ依リマシテ、自ラ使ヒ途が變ラナケレバナラナイ、今マデノ質問應答ニ依リマスト、富ノ均衡ヲ圖ルトカ、色々ノ言

是ガ問題デアリマス、本年度ノ豫算ニ不足ヲ生ジタカラ、斯クモ大キイ所ノ財産税ヲ取ツテ、サウンシテ本年間ニ合セルト云フコトニナリマスト、明年度ス所ノ財産税等收入金特別會計案、是ハ昭和二十六年マデト云フヤウニモ何ナル方法ニ依クテ税金ヲ取ツテ行カレルカ、尙ホ今回ノ提案サレテ居リマス、此ノ多額ノ費用ヲ要スル場合ハ如何ナル方法ニ依クテ税金ヲ取ツテ行カレルカト睨ミ合セマシテ、收入シマシタ所ノ此ノ財産税ヲ如何ナル方回ニ使ハレルカ、先づ以テ大藏大臣トシマシテハ、本年度ノ豫算ハ組ンデ、サウンシテ審議シテ居ルノデアルガ、將來ノモノハ、マダ豫算ハ出來テナイト云フコトデ、逃ガラレタイダラウト考ヘマスガ、是ハ少クトモ大藏大臣ト致シマシテハ、將來ノ日本ノ經濟ト云フコトニ對シマシテ、來年度ハ、斯クモ大キイ豫算ヲ取ツタラドウ云フ風ニシヨウ、其ノ次ニハドウ云フ風ニシヨウト云フヤウナ、少シク先ノコトマダ無論御考ヘニナツテ居ルコト思ヒマスシ、ソレハ茲ニ豫算が出來ナインデアルカラ、豫算トシテ説明出來ナクトモ、其ノ點ヲ國民ノ安心スルヤウニ御説明願ヒタ

歳入ニモ別途ノ考慮ヲ致サケレバナ
ノ所デハ明年度ト豫算ニ付テマダ左様
ナ數字ガ固マリセヌ、御答ヘ致シ兼
ネル譯アリマスガ、數字ハ別ニ致シ
マシテ、昨日申上ダヤウニ、日本ニ
財政上カラ「インフレーション」ガ起ル
ガ如キ豫算ハ明年度ニ於テ組マレル憂
ヘハナイ、斯様ニ私ハ信ジテ居ル譯デ
アリマス。

○河原田委員 明年度ノ豫算ハ編成ガ
出来テナイカラ數字的ニ説明ガ出来ナ
イ、斯ウ云フ管辯アリシタガ、本年
度ノ今回ノ財産税ハ、大藏大臣ノ説
明ニモアリマシタヤウニ一千百億ト云
フヤウナ大キイ金額ニナルヤウニモ説
明サレテ居リマス、斯クノ如キ大キイ
收入ヲ本年度ノ豫算ニ使フト云フヤウ
ナコトニナリマスト——無論全部ハ使
ハレナイト思ヒマスガ、其ノ中相當大
幅ニ使ハレル、丁度入ツテ來タカラ此
ノ際使フノダト云フヤウナ放慢の政策
ヲ執ラレデハ、將來困ルコトニナル、
此ノ財産税ノ如キハ他ノ一般收入ト違
ヒマスノデ、戦後何年カノ間ニ之ヲ復
興シテ行カナケレバナラナイ、賛償モ
シナケレバナラナイ、斯ニ考ヘマシタ
時ニ、先づ以テ茲ニ丁度豫算ガ作ラ
マシタノガ、財産税等收入金特別會計
法案ガ二十六年マデトナツチ居リマス
ガ、此ノ二十六年マデ六箇年ノ間ニ先
づ以テ初年度ハドノ程度、其ノ次ハド
ノ程度、二十六年度ニハドノ程度、是
デ日本ノ敗戦後ノ經濟ヲ財産税ニ依ツ
テ賄フ、其ノ殘リノ何トモ已ムヲ得ナ
イ所ハ増税其ノ他ノ方法ヲ執ルノデア
ツテ、成ベクハ之ヲ利用シタイ、之ヲ
有效ニ使ヒタイ、アルカラ直グ使ツテ
シマツテモ宜インダト云フヤウナ放慢

の政策デナクヤツテ戴キタイノガ希望
ニアリマスガ、只今ノ大藏大臣ノ説明
ニ依リマスト、餘リニモ賴リナイヤウ
ナ氣ガスルノデアリマス、來年度ハマ
ダ出来テ居ナイ、本年度ノ収入ガ少ナ
イカラ、ソレニ當テル、ドノ程度當テ
ラレルノカ、斯ウ云フ考ヘモ起ル、然
ラバ本年度ハ幾ヲ使ハレル考ヘデアル
カ、之ヲ御説明願ヒタイ

○石橋國務大臣 本年度ノ財産税ヲ伸
ヒマス金額ハ豫算ニ出テ居ル譯デアリ
百五十五億、ソレカラ追加豫算第一
號、第二號ニ計上シタ分ヲ合セチ三百
十億ニナリマス、其ノ外ハ本年度豫算
ニハ使ハナイコトニナツテ居リマス、
實ハ本年度ノ豫算ハ、率直ニ申シマス
ト、終戦直後ノモノデアリ、御承知マ
ニ、ウナ國內ノ政治状態デアリマス、吉
田内閣ノ出來タノハ既ニ議會が始テ
居ル途中デアルト云フヤウナ譯デアリ
マシタノデ、財政計畫ト云フモノガ日
本ノ國情カラ言フトドウシテモ明年度
ノ財政カラ本當ノ財政ニナル、デスカ
ラ明年度ノ財政ニ付テ聯合國ノ意向ヲ
十分ニ打合セマシタ上デナイト確實ナ
コトガ申サレナイ、是ハ占領サレテ居
ルノデアリマスカラ、先ノ見透シガシ
付カナイ、怪シカヌ、洵ニ困シタコト
トデアリマスケレドモ、聯合國軍ノ占
領下ニアルト云フコトデアリマスカ
ラ、占領下ニアルダケドウシテモコチ
ラダケデ決メラレナイ、斯ウ云フ狀態
デアリマス、デアリマスカラ昭和二十
二年度ノ財政ニ至ツテ初メテハツキリ
シタ目標ガ立ツ、只今其ノ目標ヲ立テ
シ、アル所デアリマスカラ、其ノヤウ
ニ御諒承願ヒマス

所ノ御答辯ヲ御伺ヒ致シマシテ、非常ニ安心致シマシタ、場合ニ依リマシテハモウ五十億ナリ、八十億ナリ來年三月マデノ間に使用サレルヤウナコトガ起リハシナイカト云フコトヲ心配シテ居リマシタガ、流石ニ石橋大藏大臣ノ御計畫ハ國民ノ興望ニ副ヒマシテ間違ヒナクヤラレタコトヲ喜ビト致シマスガ、八百九十億バカリノ殘リノ收入デアリマス、之ヲ如何ナル用ニ使ノカガ未ダ分ラナイ、斯ウ云フコトデアリマス、例ヘバ懷ロニアルオ金デアツテモ、大體ノ目標ヲ立チズニ使ツテ行キマシタナラバ、旅行先デモ歸レナイト云フコトニモナル、一國ノ經濟ヲ掌ツモ、大體ノ目標ヲ立チズニ使ツテ行キマシタナラバ、旅行先デモ歸レナイト云フヤウナ、餘ニモ賴リナイトコトデハ困ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ居リマスノデ、膳國務大臣ハ今ノ大臣ハ、是ハ進駐軍ノ命令ダケニ依ツテ豫算ヲ組マレルノカ、其ノ點ヲ膳國務大臣ニ御伺ヒ致シマス

入ハ先程申シマシタヤウニ三百十一億、ソレカラ百二十三億程ガ國債償還、其ノ他細イ經費ナドガアリマスガ、ソンナ風ニナツテ居リマス、左様ナ譯デアリマス、ソレカラ此ノ中ニハ戰時補償特別税モ入ツテ居リマス、所ガ戦時補償特別税ト云フ中ニハ、實ハ預金トノ相殺トカ、請求權ガ自ラ消滅スル、ソレモ入ツテ居ルノデアリマシテ、課税額ハ六百六十九億圓ニナツテ居リマスガ、實際此ノ差引ノ歳入トナリマンダ金額ハ、百六十四億圓ゴザイマス、左様ニ御諒承願ヒマス、後ハ相殺等ニ入ツテ來ルダケテ政府ノ債務トノ差引ヒマス、百六十四億圓ガ差引國庫ニ入ル歳入ニナル、ソレダケデアリマシテ、政府ノ負債ガ減ルコトハ六百六十九億カラ百六十四億其ノ他ヲ差引イテ残リノ四百五十億圓程ガ政府ノ債務ノ減少ニナリマス、アリマスカラハリ課税ラシテソレダケノ利益ハアツタリ譯デアリマスカラ、直接ノ歳入ハ百六十億デアリマス

ト御説明ニナリマシタコトハ嘘デアツタ——嘘デナクテモ相殺ニナル譯デスカラソレガ帳簿上デ差引キマスカラ、課税ハ一千億圓ヲ超エマス、詰リソレガ國債ヲ返還スルノト同ジ形ニナル譯デアリマス、勘定ノ上手相殺ニナリマスカラ、國庫ニ直接入ツテ來ル金ハ百六十四億圓ナル、斯ウ云フ勘定ニナル、課税ハスル譯デス。

○河原田委員 ソコデ今マテ政府當局ノ御説明ガ時折變ツテ來タノハ、ソコニ原因ガアルト云フコトニナル譯デアシタコトリマス、サウスルト例ヘバ今年度ノ豫算ニ不足ヲ生ジタカラ財產稅ヲ取ル、富ノ均衡ヲ圖ル爲ニ取ルト云フヤニ、政府ノ説明ガ變ツテ參リマシタコトハ、實際ニ於テハ公債ノ鎖却デアルトカ其ノ他ニ引充テル分ガ含ンデ來マシタノデ、政府ノ答辯ガ時折變ツテ來タ、斯ウ御伺ヒシテ宜シイデアリマセバ、詰リ收入シタ財產稅ハ全部公債ノ償還ニスルカ、ソレトモ或ル政黨ノ主張シテ居ルヤウニ、是ハ公債ノ償還ヲシテハナラナイ、寧ロ救濟事業等ニ使ハリマス、ソレハニスルカ、斯ウ云フ論爭モアツタデアリマス、政府ノ態度ハ必ズシモ實現スルト決マツテ居ツタ譯デハアリマ

セス、結局事實ニ於テハ本年度ノ財政ニ御承知ノヤウナ狀態アツテ、其ノニハ復員費其ノ他ノ救濟事業ガ隨分アカルシ、又進駐軍ノ爲終戰處理費トニモノガ二百億圓ヲ超エル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、ソコデ財產稅デス、モテ來ルモノヲドシテモ財政上繕ヒタル使用シナケレバナラヌ狀態ニアルヲ、全部之ヲ公債ニ廻シテ積却スルノ云フノトソニ變化ヲ生ジタ譯デス、一部分ノ財產稅ヲ財政支出ノ財源ニ左テ、サウシテ殘ツク分ヲ公債其ノ他ノ國家ノ債務ノ償還ニ充テル、ソコモウ一ツ變ツテ來タコトハ、前ニハ償還ハ大體一於テ全部之ヲ拂フ、其ノ代リニ財產稅ヲ多額ニ徵收スル、前内閣時代ニハ斯ウ云フ考ヘデアツタヤウニアリマスガ、ソレガ變化シテ補償ハ消滅時特別稅ノ形デ之ヲ打切ル、其ノ代リニ財產稅ハ法人或ハ又個人戰時所得ニ關スルモノハ止メテ、個人財產稅一本シタ、茲ニ變化ガ生ジタ譯デス、ケレボモ戰時補償特別稅ト財產稅トヲ加ヘテ考ヘレバ結局課稅ハ千億圓ヲ超エル、半ウシテソレニ依ツテ國家ノ債務ハ消滅ナル譯デアリマス、結局本年ノ春テナツタリ或ハ昨年ノ暮アタリ前内閣ガ所謂當務豫算ナルモノヲ作ツテ居マシタヨニハ、進駐軍費トカ云フモノハ今年ノ財政ニ使ハル、是ダケガ實質ニ於テハ變ツタ譯デアリマス

ノ豫算ニ使ヒ、公債ニ鎖却ニ使ツタ残リ、本年度中ニマテ徵收ノ濟マ、
ノ残リ、本年度中ニマテ徵收ノ濟マ、
ノ分モアリマセウガ、之ヲ合セマシテ、
本年度使ツタ残リ、來年度以降ニ廻
ル金額ハ概算幾ラ位ニナル御豫定デ
ザイマセウカ

○ 河田(男)政府委員 財產稅收入ガ百三十五億ザイマス、サウシテ補
特別稅ノ方ノ收入ガ百六十四億ゴザ
マス、其ノ百六十四億ノ中ニ政府特
借入金ガ九十四億加ハツテ居リマス
ラ、純收入ハ七十億ト云フコトニ
マシテ、合計五百億ガ財產稅竝ニ戰
補償特別稅デ「ネット」ニ入ツテ來ル
入デゴザイマス、別ニ豫算ニハ政府
入金ノ收入ヲ立テマシテ、直チニ又
債整理基金特別會計ノ方ヘ別ニ九十
億入レテ居リマス

○ 河原田委員 サウ致シマスト、全
デハ實際ニ國庫ニ入ツテ來ル收入ト
ノハ總額デ五百億ト承ツタノアラ
マスガ、間違ヒナインノデアリマセ
カ、サウ致シマスト、若シ本年度三十
十億使ヒマスト、殘リハ百九十億シ
ナイト云フコトニナルノデゴザイマ
ウカ、此ノ點ヲモツ一回御伺ヒ致シマ
○ 池田(男)政府委員 左様ゴザイ
ス、大體五百億ノ純收入ガゴザイ
ス、唯其ノ中ニ舊勘定預金カラ納マ
ベキ財產稅ガ七十五億圓ゴザイマス、
此ノ七十五億圓ガ銀行ノ整理ニ依リ
シテ、ドレダケノ數字ニナルカ其ノ以
ガ疑問ダケデアリマシテ、アトソレ
除キマスレバ五百億ノ純收入ト考ヘ
宜シゴザイマス

○ 河原田委員 サウ致シマスト、是
ケ國家ノ各層、財界ノ引繩返ル程
驗ギテ致シマシテモ、實際ノ問題ト
シハ、本年度ノ豫算ノ赤字ニ補填ヲ

○池田(勇)政府委員 財産税等ノ特別
會計收入ハ四百三十五億ノ財產税ト、此ノ百六十四億ノ戰時補償特別税ノ收入ヲ見込ンデ居リマス、併シ其ノ中ニハ政府特殊借入金ノ九十四億ガ——是ハ實際入ツテ來ル金デハゴザイマセヌ、政府ガ拂フベキモノニアツタノデハゴザイマセヌノデ、大體實際入ツテ來ル金ハ五百億圓ト見積ラレマス、唯其ノ五百億圓ノ中ニ財產税デ舊勘定預金カラ拂込マレルト認メラレル七十五億圓ト云フノガゴザイマスカラ、是ガ半分切ラレルト云フコトニナリマスト、五百億圓ガ四百六十五億圓ニ相成ルノデゴザイマス

○河原田委員 四百六十五億圓トナリマスト、三百十億圓ト云フモノヲ差引キマスト百五十五億圓バカリシカ來年年度ニ残ラナイト云フコトニナルノデアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 舊勘定預金カラ拂込マレタ財產稅、舊勘定預金カラ拂込ンダ金額ガ、銀行ノ整理ニ依リマシテ平均半分切ラレタルト、御話ノ通りニナリマス

○河原田委員 ソコデ本年度ノ豫算ニ於テハ三百十億圓使ツタ、結局來年度進駐軍關係其ノ他ガゴザイマシテモ、之ニ對シテ全額之ニ振向ケマシテモ、モヴ之ニ振向ケル分ト云フノハ極ク僅カシカナイ、斯ウ云フコトニナリマスト、又明年度ノ豫算ニ於キマシテモ不足ヲ生ジマシテ、財產稅ト同様ナ稅金デモ取ラケレバヤレナイカ、或ハ此

マ今度ハ赤字公債デモ發行シナケレバ
ナラナイヤウニナルノデヤナイカ、斯
ウシタ點ヲ考ヘマスト實ニ不健全財政
ニアツテ、健全財政トハ到底考ヘラレ
ナイ、是程大キイ收入ガアツテモ健全
財政ニナラナイ、而シテ斯クモ犠牲ヲ
拂ソタ所ノ此ノ税金ノ約半分以上ガ公
債ノ消化ニ當テラレルト云フヤウナコ
トハ、是ハ餘程考慮ノ餘地ガアルノヂ
ヤナイカト思フノデアリマスガ、之ヲ
以テ政府ハ是ダケノ苦心ヲシテ、是ダ
ケノ犠牲ヲ拂ハシテ取ツタモノヲ、公
債ノ支拂ニ引當テル、是デ宜イト考ヘ
テ居ラレルカドウカ、重ネテ御伺ヒ致
シマス

イカト思ツテ居リマス、一面ニ於シテハ公債ノ利拂ノ問題モ、拂フト云
フコトニハ決マツタヤウデアリマス、ガ、相當議論モアツタノデアリマス、
決メラレタコトハ結構デアリマセウガ、今後ノ殘ツテ居ルモノハ、之ヲ云
債ノ銷却ニ當テナイデ、返済ニ當テナイデ、残シテ置イテ、明年度以降此ノ
戰後ノ大體ノ復興ノ済ムマデ、之ニ付キマシテモ、之ヲ引當テルト云
ウナ政策ハ執ツテ戴ケナイモノデアリマセウカ、此ノ點御伺ヒ致シマス
○右橋國務大臣 ソレハ實ハ財產税デ入リマスモノハ御承知ノヤウニ物納ガ
ソレ復興サレル、或ハ賠償等ノ問題ト
付キマシテモ、之ヲ引當テルト云
アリマスカラ是ハ計算ノ立テ方デアリマス
○右橋國務大臣 ソレハ實ハ財產税デ入ルモノハソレヲ一旦國
債デ償還フシテシマフ、入ツタ國債ノ物納ガ
アル、或ハ國債デ入ルモノモアル、デ
アリマスカラ是ハ計算ノ立テルナラバ、
マスガ國債デ入ルモノハソレヲ一旦國
債還フシテシマフ、ソレカラ入ツテ來タ國債ヲ
見返リニ財政ノ支出ニ當テルナラバ、
新タニ國債ヲ發行スルスワ云フヤリ何
方ガアリ、ソレカラ入ツテ來タ國債ヲ
其ノ儘ニシテ、之ヲ又日本銀行ナリ何
ナリニ賣却シテ、其ノ代リ金ヲ財政ニ
使フ、斯ウ云フ行キ方モアル譯デアリマス、
マス、先程申シマシタヤウニ、國債
デ入ツタモノハ一旦國債ノ償還ニ充テ
ルト致シマスト、相當ノ國債ヲ償還シ
得ル譯ニナリマス、デスカラ御話ノヤ
ウニ若シ財產税ヲ來年度ニ於テモ亦使
フコトガ適當デアルト、斯ウ認メラレ
ル場合ニハ、其ノ國債ヲ償還セズニ置
イテ其ノ儘使フ、或ハ一旦償還シマシ
テ、財產稅特別會計カラ新タニ國債ヲ
發行シテ使フ、斯様ニ致シ得ル譯デア
リマス

シ、追加豫算モ出マシテ、只今大減大
臣ガ國民ノ安心スルヤウナ御答辯がア
リマシタノデ、今後ノ追加豫算等ハ必
トカ切盛リサレルモノト安心シテ居リ
マスガ、先程ノ質問ニモアリマシタヤ
ウニ、賃償物件ノ移動ト云フヤウナ問
題デモ起リマスト、本年度以上ノ豫算
ガ要ルデハナイカト思フ、ソレニ對シテ
マシテ本年度ノ財産税ノ殘リガナ
ナイト云フコトニナリマスト、
明年度ノ豫算編成ニ當リマシテ
非常ニ困難スルデナイカ、斯ウ
思フノデアリマス、其ノ點ハ國民ノ心
配ノナイヤウニヤツテ戴ケル御見込ガ
アルカドウカ、重ネテ此ノ點ヲ御伺
致シマス。

テ如何ナル處置ヲ執ラレル方針デアル
カ、御伺ヒ致シマス
○石橋國務大臣 財産税ヲ取リマス結果ハ、比較的資產ノ多イ者ガナクナリマスカラ、新投資ト云フヤウナモノニハ、餘程注意ヲ致シマセスト不便ヲ生ズルト思ヒマス、併シナガラ現在ニ於ケル生産ニ直接影響ガアルトハ考ヘマヌ、是ハ企業再建築ノ方デ、此ノ企業再建整備ガ順調ニ參リマスレバ、生産ハ無論維持セラレ、又發展ノ基礎モ出來ル譯デアリマシテ、財産税ガ直接ニ此ノ産業ノ生産ニ悪影響ヲ及ボスト云フコトハナイト考ヘマス

○河原田委員 財産税ヲ徵收シタ結果ノ此ノ産業ノ再建ト云フモノニ對スル所ノ融資ノ方法ト云フモノハ、別段御考ニヘナツテ居ラナイコトニナルノデアリマセウカ

○石橋國務大臣 財産税ハ個人ニ課ケ譯デアリマシテ、法人財産税ハナイスルノデアリマシテ、法人ガ此ノ財産税ニ關係スルノハ、法人ノ株價ヲドウ評價スルカ、ソレニ依ツテ個人ノ財産税ガ變ルト云フ所ニ、法人トノ繫ガリガアルノデアリマシテ、直接ニ法人ニ財産税ハ課カリマセヌ、併シナガラ財産税ガ課カル課カラヌニ拘ラズ、企業ノ經營ト續イテ其ノ發展ヲ圖ル爲ニハ、無論金融ヲ致サナケレバナラヌ、ソレガ即チ復興金融金庫デアリマス、其ノ方面カラ金融措置ハ致ス積リデアリマス

○河原田委員 此ノ前ノ答辯ノ時ニ、復興金融金庫ト云フ御話が出マシテガ、是ハ其ノ當時ハ財産税ヲ取ツテサウシテ事業ノ再建ガ出来ナイ、或ハ生産ノ増強ガ出来ナイト云フモノニ對シマシテ、此ノ復興金融金庫カラ金ヲ融資スルト云フヤクナ話ナカツタノデ

アリマスガ、兩方トモ兼ネオヤリニ
ナラレルノカ、大藏大臣ハ國家ノ産業
ト云フモノハ株式會社ニ依ツテ——法
人ニ依ツテノミ大部分ガ產業ノ再建、
又生産ノ増強ト云フコトヲヤラレル、
出來ルノダト、斯カル御考ヘヲ持ツテ
居ルノカドウカ、是ハ決シテ法人ノミ
ニ依ツテ產業ノ再建トカ或ハ生産ノ增
強トカ云フコトヲ言ツテ居ルベキモノ
デハナクシテ、一般國民ノ個人ノ事業
ニ對シテモ考ヘルノデアリマスガ、此ノ
デアルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ
點ハ如何ニ考ヘテ居ラレルノカ御伺ヒ
致シマス